

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2024年12月17日提出
【計算期間】	第38特定期間(自 2024年3月22日至 2024年9月20日)
【ファンド名】	グローバル3資産ファンド
【発行者名】	三井住友D Sアセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 猿田 隆
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門一丁目17番1号
【事務連絡者氏名】	竹本 政司
【連絡場所】	東京都港区虎ノ門一丁目17番1号
【電話番号】	03-6205-0265
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

- イ 当ファンドは、G20 債券マザーファンド、グローバル好利回り株式マザーファンド、新興国高配当株式マザーファンドおよびグローバル・リート・マザーファンド（以下、総称して「マザーファンド」といいます。）を組み入れることにより、実質的に、世界の債券、株式、不動産投資信託（リート）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
- ロ 委託会社は、受託会社と合意の上、金1兆円を限度として信託金を追加することができます。この限度額は、委託会社、受託会社の合意により変更できます。
- ハ 当ファンドが該当する商品分類、属性区分は次の通りです。

商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型	国内	株式
		債券
追加型	海外	不動産投信
		その他資産 ()
	内外	資産複合

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式	年1回	グローバル (日本を含む)		
一般				
大型株	年2回	日本		
中小型株	年4回	北米		
債券			ファミリーファンド	あり
一般	年6回(隔月)	欧州		
公債				
社債	年12回(毎月)	アジア		
その他債券				
クレジット属性 ()	日々	オセアニア		
不動産投信	その他 ()	中南米	ファンド・オブ・ファンズ	なし
		アフリカ		
その他資産 (投資信託証券 (資産複合(株式、 債券、不動産投 信)資産配分固定 型))		中近東(中東)		

資産複合 () 資産配分固 定型 資産配分変 更型		エマージング		
---	--	--------	--	--

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

一部の組入マザーファンドの運用は、ファンド・オブ・ファンズ(投資信託証券への投資を目的とする投資信託)の投資形態で行うため、当ファンドとマザーファンドを一体とみなした場合、ファンド・オブ・ファンズの性質を有します。

属性区分の「為替ヘッジ」は、対円でのが替変動リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

商品分類および属性区分は、一般社団法人投資信託協会「商品分類に関する指針」に基づき記載しています。

商品分類および属性区分の用語の定義については下記をご覧ください。なお、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<https://www.toushin.or.jp/>)でもご覧頂けます。

一般社団法人投資信託協会「商品分類に関する指針」

商品分類表定義

1. 単位型投信・追加型投信の区分

- (1) 単位型投信... 当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われないファンドをいう。
- (2) 追加型投信... 一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。

2. 投資対象地域による区分

- (1) 国内... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 海外... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 内外... 目論見書または投資信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

3. 投資対象資産(収益の源泉)による区分

- (1) 株式... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 債券... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 不動産投信(リート)... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (4) その他資産... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な収益の源泉となる資産の名称記載も可とする。

- (5) 資産複合... 目論見書または投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

4. 独立した区分

- (1) MMF (マネー・マネージメント・ファンド)...
「MRF及びMMFの運営に関する規則」に定めるMMFをいう。
- (2) MRF (マネー・リザーブ・ファンド)...
「MRF及びMMFの運営に関する規則」に定めるMRFをいう。
- (3) ETF... 投資信託及び投資法人に関する法律施行令(平成12年政令480号)第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法(昭和32年法律第26号)第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいう。

5. 補足分類

- (1) インデックス型... 目論見書または投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。
- (2) 特殊型... 目論見書または投資信託約款において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。なお、下記の属性区分で特殊型の小分類において「条件付運用型」に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記するものとし、それ以外の小分類に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記できるものとする。

属性区分表定義

1. 投資対象資産による属性区分

- (1) 株式
- 一般... 次の大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのものをいう。
- 大型株... 目論見書または投資信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいう。
- 中小型株... 目論見書または投資信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいう。
- (2) 債券
- 一般... 次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらないすべてのものをいう。
- 公債... 目論見書または投資信託約款において、日本国または各国の政府の発行する国債(地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含む。以下同じ。)に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- 社債... 目論見書または投資信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- その他債券... 目論見書または投資信託約款において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- 格付等クレジットによる属性...
目論見書または投資信託約款において、上記 から の「発行体」による区分のほか、特にクレジットに対して明確な記載があるものについては、上記 から に掲げる区分に加え「高格付債」「低格付債」等を併記することも可とする。
- (3) 不動産投信... これ以上の詳細な分類は行わないものとする。
- (4) その他資産... 組み入れている資産を記載するものとする。
- (5) 資産複合... 以下の小分類に該当する場合には当該小分類を併記することができる。

資産配分固定型... 目論見書または投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

資産配分変更型... 目論見書または投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行う旨の記載があるものもしくは固定的とする旨の記載がないものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

2. 決算頻度による属性区分

年1回... 目論見書または投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいう。

年2回... 目論見書または投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいう。

年4回... 目論見書または投資信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいう。

年6回(隔月)... 目論見書または投資信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいう。

年12回(毎月)... 目論見書または投資信託約款において、年12回(毎月)決算する旨の記載があるものをいう。

日々... 目論見書または投資信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいう。

その他... 上記属性にあてはまらないすべてのものをいう。

3. 投資対象地域による属性区分(重複使用可能)

グローバル... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、「世界の資産」の中に「日本」を含むか含まないかを明確に記載するものとする。

日本... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

北米... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

欧州... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

アジア... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

オセアニア... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

中南米... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

アフリカ... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

中近東(中東)... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

エマージング... 目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域(新興成長国(地域))の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

4. 投資形態による属性区分

ファミリーファンド... 目論見書または投資信託約款において、親投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)にのみ投資されるものを除く。)を投資対象として投資するものをいう。

ファンド・オブ・ファンズ... 「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいう。

5. 為替ヘッジによる属性区分

為替ヘッジあり... 目論見書または投資信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいう。

為替ヘッジなし... 目論見書または投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

6. インデックスファンドにおける対象インデックスによる属性区分

日経225

TOPIX

その他の指数... 上記指数にあてはまらないすべてのものをいう。

7. 特殊型

ブル・ベア型... 目論見書または投資信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動もしくは逆連動(一定倍の連動もしくは逆連動を含む。)を目指す旨の記載があるものをいう。

条件付運用型... 目論見書または投資信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果(基準価額、償還価額、収益分配金等)や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいう。

ロング・ショート型/絶対収益追求型...

目論見書または投資信託約款において、特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨もしくはロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨の記載があるものをいう。

その他型... 目論見書または投資信託約款において、上記 から に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。

(2) 【ファンドの沿革】

2005年9月30日

信託契約締結、設定、運用開始。

2013年12月20日

投資対象マザーファンドについて、「グローバル好利回り債券マザーファンド」から「G20債券マザーファンド」に変更するとともに、「新興国高配当株式マザーファンド」を追加。

(3) 【ファンドの仕組み】

イ 当ファンドの関係法人とその役割

(イ) 委託会社 「三井住友DSアセットマネジメント株式会社」

証券投資信託契約に基づき、信託財産の運用指図、投資信託説明書(目論見書)および運用報告書の作成等を行います。

(ロ) 受託会社 「三井住友信託銀行株式会社」

証券投資信託契約に基づき、信託財産の保管・管理・計算等を行います。なお、信託事務の一部につき、株式会社日本カストディ銀行に委託することがあります。また、外国における資産の保管は、その業務を行うに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行う場合があります。

(ハ) 販売会社

委託会社との間で締結される販売契約(名称の如何を問いません。)に基づき、当ファンドの

募集・販売の取扱い、投資信託説明書（目論見書）の提供、受益者からの一部解約実行請求の受付け、受益者への収益分配金、一部解約金および償還金の支払事務等を行います。

（二）投資顧問会社（運用の委託先）

委託会社との間で締結される投資一任契約（運用委託契約）に基づき、グローバル・リート・マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、信託財産の運用を行います。

名称：BNPパリバ・アセットマネジメント・ヨーロッパ

役割：当ファンドが主要投資対象とするグローバル・リート・マザーファンドに関する資金配分（為替取引を含む）およびリート取引にかかる運用の指図を行います。

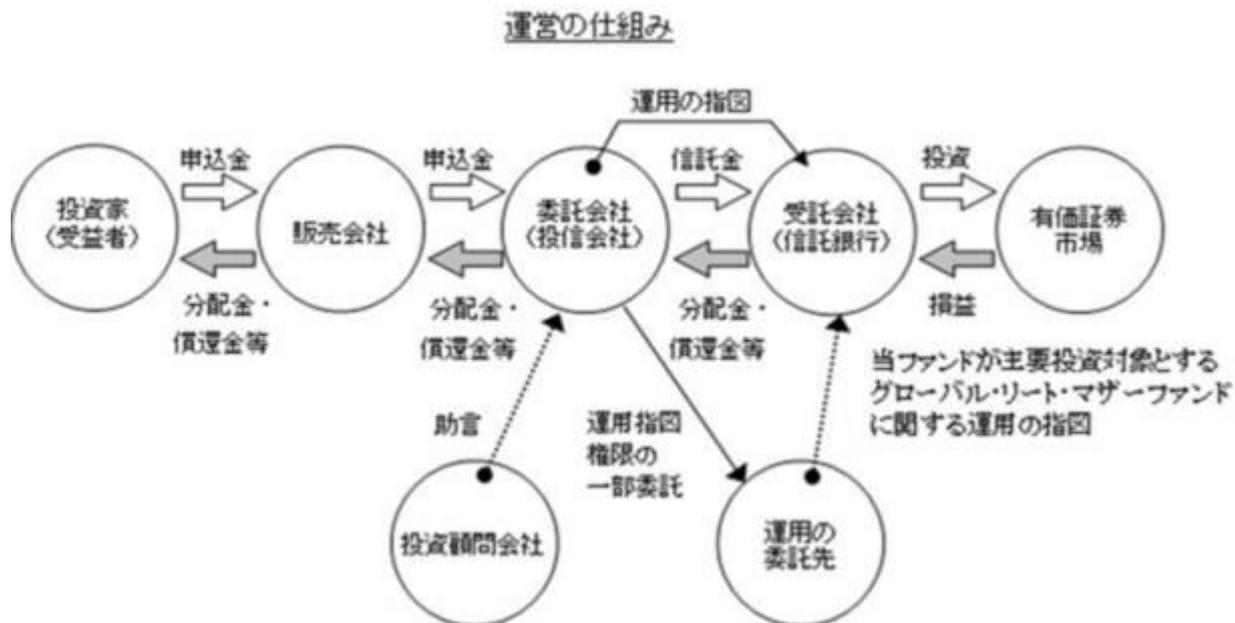
運用委託先を、以下「BNPパリバ・アセットマネジメント・グループ」ということがあります。なお、将来、BNPパリバ・アセットマネジメント・グループ内の組織変更等に伴い、運用委託先の形式的な変更が生じることがあります。

〔参考情報：投資顧問会社〕

以下の法人は当ファンドの関係法人には該当しませんが、当ファンドが投資対象とする新興国高配当株式マザーファンドの運用に関し、助言等を行う投資顧問会社であり、間接的に当ファンドの運用に関与します。

スミトモ ミツイ DS アセットマネジメント（ホンコン）リミテッド

当ファンドの投資対象である新興国高配当株式マザーファンドの投資顧問会社として、委託会社に対して、主として、銘柄選定に関する助言を行います。



□ 委託会社の概況

（イ）資本金の額

20億円（2024年10月31日現在）

（ロ）会社の沿革

1985年7月15日	三生投資顧問株式会社設立
1987年2月20日	証券投資顧問業の登録
1987年6月10日	投資一任契約にかかる業務の認可
1999年1月1日	三井生命保険相互会社の特別勘定運用部門と統合
1999年2月5日	三生投資顧問株式会社から三井生命グローバルアセットマネジメント株式会社へ商号変更

- 2000年1月27日 証券投資信託委託業の認可取得
 2002年12月1日 住友ライフ・インベストメント株式会社、スミセイ グローバル投信株式会社、三井住友海上アセットマネジメント株式会社およびさくら投信投資顧問株式会社と合併し、三井住友アセットマネジメント株式会社に商号変更
 2013年4月1日 トヨタアセットマネジメント株式会社と合併
 2019年4月1日 大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、三井住友D Sアセットマネジメント株式会社に商号変更

（八）大株主の状況

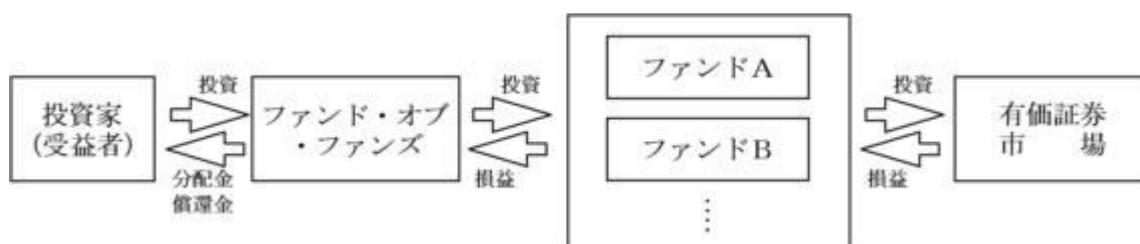
（2024年10月31日現在）

名称	住所	所有株式数 (株)	比率 (%)
株式会社三井住友フィナンシャルグループ	東京都千代田区丸の内一丁目1番2号	16,977,897	50.1
株式会社大和証券グループ本社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号	7,946,406	23.5
三井住友海上火災保険株式会社	東京都千代田区神田駿河台三丁目9番地	5,080,509	15.0
住友生命保険相互会社	大阪府大阪市中央区城見一丁目4番35号	3,528,000	10.4
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	337,248	1.0

八 ファンドの運用形態（ファンド・オブ・ファンズによる運用）

一般に、「ファンド・オブ・ファンズ」においては、株式や債券などの有価証券に直接投資するのではなく、複数の他の投資信託（ファンド）を組み入れることにより運用を行います（投資信託に投資する投資信託）。また、種々の特長を持った投資信託を購入することにより、効率的に資産配分を行います。

〔ファンド・オブ・ファンズによる運用〕



なお、当ファンドは、「ファミリーファンド方式」を採用しており、実際の他のファンドへの投資は、マザーファンドを通じて行います。

2【投資方針】

（1）【投資方針】

イ 基本方針

当ファンドは、マザーファンド受益証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

ロ 投資態度

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に以下の運用を行います。

（イ）世界の債券、株式、不動産投資信託（リート）の3つの異なる資産に分散投資を行い、配当等

収益の確保と信託財産の安定した成長を目指します。

(ロ) 債券、株式、リートへの投資割合は、1：1：1を基本とします。

(ハ) 外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。

(ニ) 資金動向、市場動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの特色

1

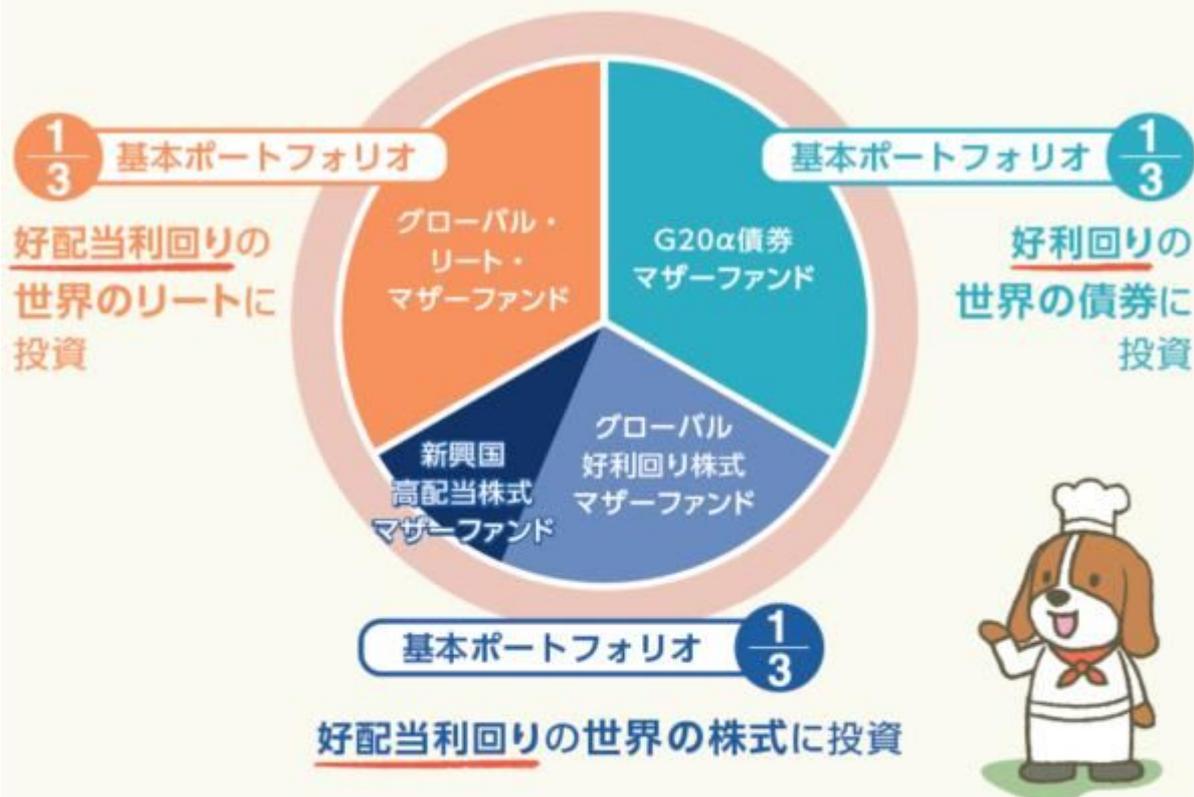
世界の債券、株式、不動産投資信託（リート）の3つの異なる資産に分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の安定した成長を目指します。

- 各資産は、好利回りに着目して運用します。
- 実際の運用は、マザーファンドへの投資を通じて行います。

2

債券、株式、リートへの投資割合は、1：1：1を基本とします。

▶ 3資産に分散投資を行いながらファンドの安定的な成長を目指します。



※新興国株式への投資は、世界の株式部分の1/3程度を基本とします。(2024年10月末現在のものであり、今後変更される場合があります。)

3

外貨建資産については、
原則として対円での為替ヘッジを行いません。

4

毎月決算（原則として毎月20日、休業日の場合は翌営業日）を行い、
分配方針に基づき分配を行います。

- 原則として安定した分配を目指します。
- 分配金額は、委託会社が分配方針に基づき、基準価額水準、市況動向等を考慮し決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

▶ 分配のイメージ

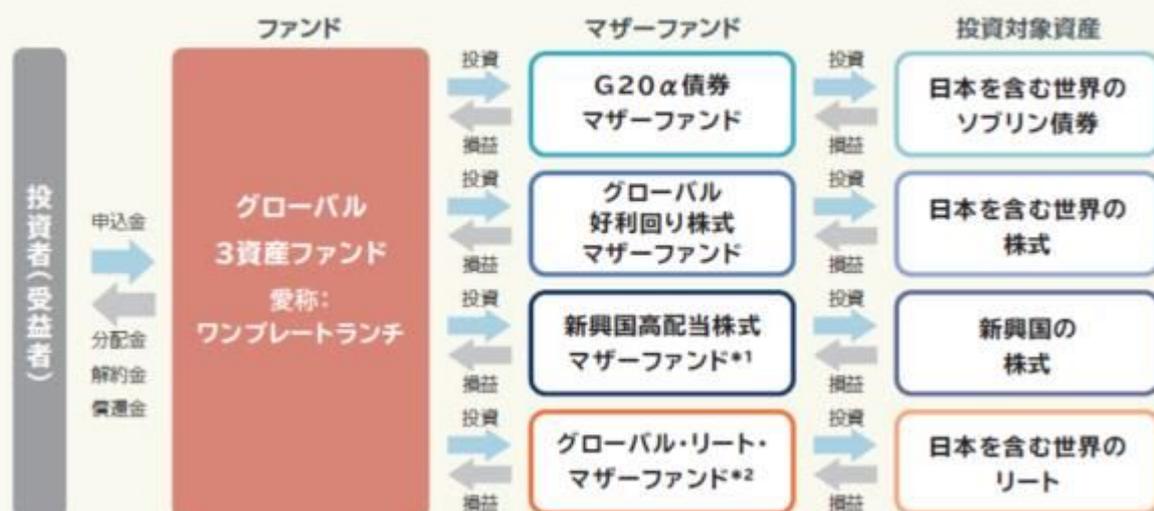


※ 上記は分配のイメージであり、今後の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
 ※ 「安定した分配を目指します。」としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額的水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドのしくみ

■ ファミリーファンド方式を採用し、マザーファンドの組入れを通じて、実際の運用を行います。



*1 スミトモ ミツイ DS アセットマネジメント(ホンコン)リミテッドから投資助言を受けます。なお、**同社は委託会社の子会社(100%出資)**です。

*2 BNPパリバ・アセットマネジメント・ヨーロッパに運用指図に関する権限を委託します。

分配金に関する留意事項

■分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

ファンドで分配金が支払われるイメージ

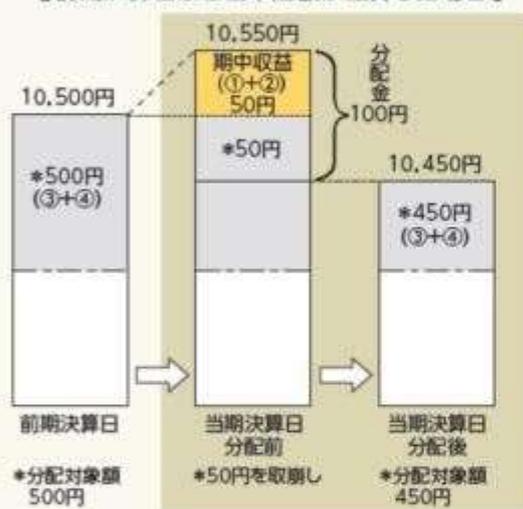


■分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

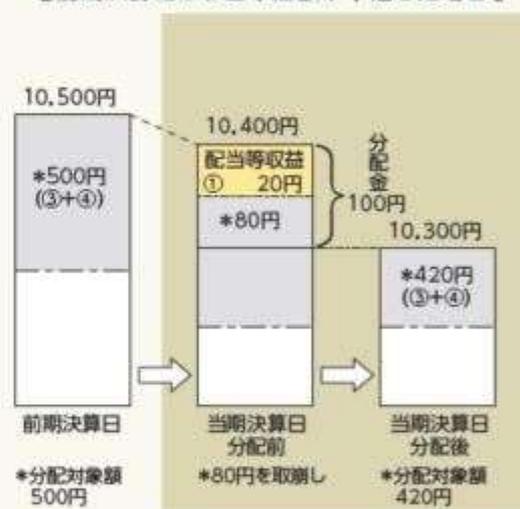
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

（計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合）

〔前期決算日から基準価額が上昇した場合〕



〔前期決算日から基準価額が下落した場合〕

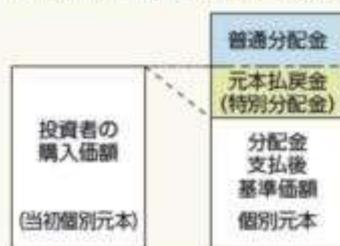


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

*上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

■投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

〔分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合〕



*元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

〔分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合〕



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(2) 【投資対象】

イ 投資対象とする資産の種類

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

(イ) 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項の「特定資産」をいいます。以下同じ。）

1. 有価証券

2. 金銭債権
3. 約束手形

(口) 特定資産以外の資産で、以下に掲げる資産

1. 為替手形

ロ 投資対象とする有価証券

委託会社は、信託金を、主としてマザーファンドの受益証券および次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

1. 国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債等を除きます。）
2. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
3. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前号の証券または証書の性質を有するもの
4. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
5. 投資証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
6. 外国法人が発行する譲渡性預金証書

なお、第4号の証券および第5号の証券を以下「投資信託証券」といいます。また、第1号の証券にかかる運用の指図は買い現先取引（売戻条件付の買入れ）に限り行うことができるものとします。

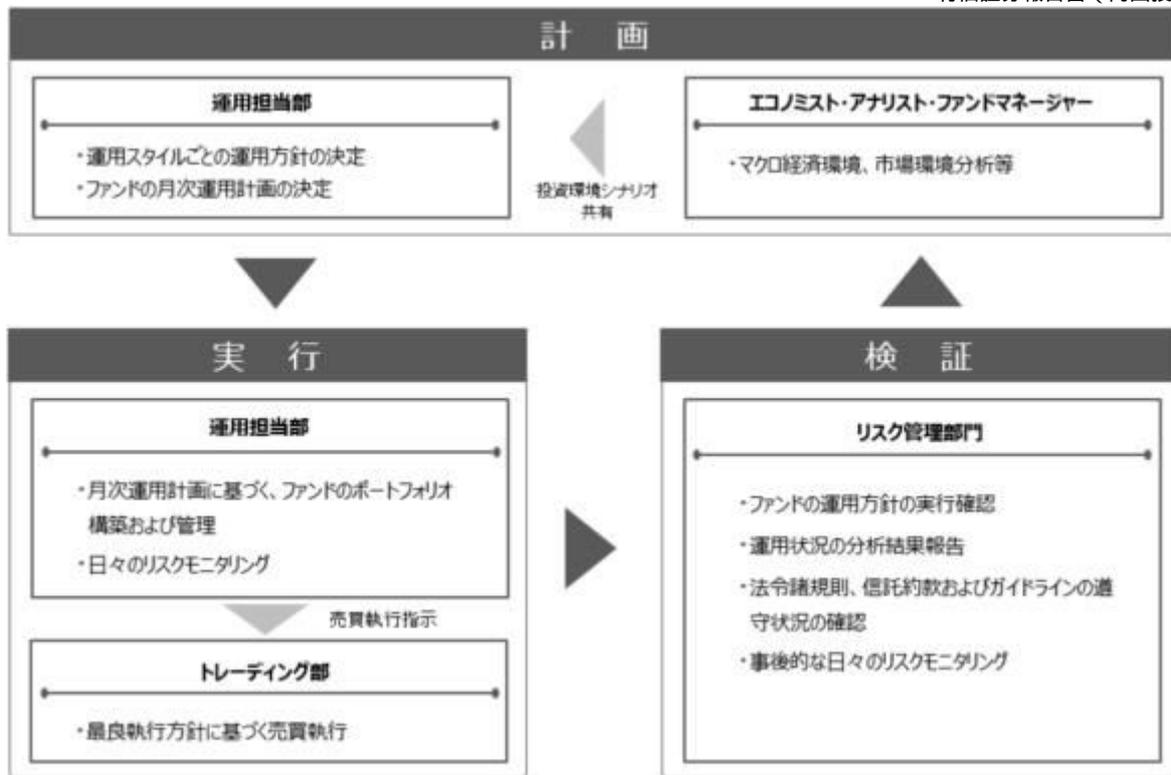
ハ 投資対象とする金融商品

委託会社は、信託金を、上記ロに掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形

(3) 【運用体制】

イ ファンドの運用体制



リスク管理部門の人員数は、約40名です。

ファンドの運用体制は、委託会社の組織変更等により、変更されることがあります。

□ 委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制

ファンドの受託会社に対しては、信託財産の日常の管理業務（保管・管理・計算等）を通じて、信託事務の正確性・迅速性の確認を行い、問題がある場合は適宜改善を求めています。

運用委託先は、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上、選定しています。また、定性・定量面における評価を継続的に実施するとともに、運用委託契約の継続可否を定期的に判断します。

〔グローバル・リート・マザーファンドの運用体制について〕

ファンドの主要投資対象の一つであるグローバル・リート・マザーファンドの運用は、運用の委託先であるBNPパリバ・アセットマネジメント・グループが、投資一任契約（運用委託契約）およびそれに付随するガイドラインに従って行います（資金配分（為替取引を含む）およびリート取引にかかる運用、運用状況の報告などを行います。）。

なお、BNPパリバ・アセットマネジメント・グループは、リート取引に関して、北米銘柄の選定についてはJ.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクの助言を受け、またアジア・オセアニア地域の銘柄選定については三井住友D Sアセットマネジメント株式会社の助言を受けます。

委託会社においては、追加設定・一部解約に伴う資金の流出入の管理、運用の委託先への委託資産の増減の指示、余裕資金の運用等および運用の委託先の運用状況（ガイドライン等の遵守状況、運用パフォーマンスなど）のモニタリング等を行います。

〔参考情報〕BNPパリバ・アセットマネジメント・グループの運用体制

BNPパリバ・アセットマネジメント・グループでは、不動産はローカルな資産クラスであり、不動産関連有価証券投資には現地市場の知識が必要であると考えています。各国・地域のかめ細かいリサーチを実施することが、良好なリターンを獲得するための重要なプロセスであると考えております。

また運用手法は、トップダウンとボトムアップを組み合わせた投資プロセスを堅持しています。トッ

プダウンのパートでは、ポートフォリオの国別配分を決定します。国別配分戦略の決定に際しては、配当利回りの水準、その水準の予想持続可能性、為替見通し、十分な分散の実現度合い等が重要なファクターとなります。ボトムアップのパートでは、個別銘柄のポートフォリオへの組入れを決定します。個々のリートは、経営陣の強さ、不動産ポートフォリオのクオリティ、財務の健全性、証券の流動性などによって詳細な個別銘柄の分析を行います。

(4) 【分配方針】

毎月決算(原則として毎月20日、休業日の場合は翌営業日)を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。

- イ 分配対象額の範囲は、経費控除後の、繰越分を含めた利子、配当収益と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。
- ロ 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合等には、委託会社の判断により収益分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ハ 留保益の運用については特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

ファンドは計算期間中の基準価額の変動にかかわらず継続的な分配を目指します。このため、計算期間中の基準価額の上昇分を上回る分配を行う場合があります。分配金額は運用状況等により変動することがあります。

(5) 【投資制限】

ファンドの信託約款に基づく投資制限

- イ 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
- ロ 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。
実質投資割合とは、当ファンドが保有するある種類の資産の評価額が当ファンドの純資産総額に占める比率(「組入比率」といいます。)と、当該同一種類の資産のマザーファンドにおける組入比率に当該マザーファンド受益証券の当ファンドにおける組入比率を乗じて得た率を合計したものをいいます(以下同じ。)
- ハ 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
- ニ 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
- ホ 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限
外貨建有価証券への投資については、日本の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。
- ヘ 外国為替予約取引の指図
委託会社は、信託財産に属する外貨建資産とマザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額(信託財産に属するマザーファンドの時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。)との合計額について、当該外貨建資産の対円で為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約を指図することができます。
- ト 資金の借入れ
(イ) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みま

す。)を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金の借入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。

- (ロ) 一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金借入額は、借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
- (ハ) 収益分配金の再投資にかかる借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- (二) 借入金の利息は、信託財産中から支弁します。

法令に基づく投資制限

- イ 同一法人の発行する株式への投資制限(投資信託及び投資法人に関する法律第9条)
委託会社は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき、信託財産として有する当該株式にかかる議決権の総数(株主総会において決議をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株式についての議決権を除き、会社法第879条第3項の規定により議決権を有するものとみなされる株式についての議決権を含みます。)が、当該株式にかかる議決権の総数に100分の50を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、信託財産をもって当該株式を取得することを受託会社に指図することが禁じられています。
- ロ デリバティブ取引にかかる投資制限(金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号)
委託会社は、信託財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的な方法により算出した額が当該信託財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引(新株予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書にかかる取引および選択権付債券売買を含みます。)を行い、または継続することを受託会社に指図しないものとします。
- ハ 信用リスク集中回避のための投資制限(金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2)
委託会社は、運用財産に関し、信用リスク(保有する有価証券その他の資産について取引の相手方の債務不履行その他の理由により発生し得る危険をいいます。)を適正に管理する方法としてあらかじめ委託会社が定めた合理的な方法に反することとなる取引を行うことを受託会社に指図しないものとします。

(参考情報: マザーファンドの投資方針等)

(G20 債券マザーファンド)

(1) 投資方針等

イ 基本方針

日本を含む世界のソブリン債券を主要投資対象とし、安定的な収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

ロ 投資態度

(イ) 主として、日本を含む世界のソブリン債券^{*}に投資することにより、安定的な収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

1. G20構成国・地域(EU加盟国を含む)の自国通貨建てソブリン債券を主要投資対象

とします。

2. 投資対象とする債券は、自国通貨建てを中心としますが、自国通貨以外の通貨建て債券に投資を行う場合があります。また、自国通貨以外の通貨建て債券に投資する際、実質的に自国通貨建てとなるよう為替取引を行う場合があります。

* ソブリン債券には国債や政府機関が発行する債券のほか、地方債、世界銀行等の国際機関が発行する債券も含まれます。

(ロ) 投資対象国と通貨別配分については、信用力、流動性、金利・経済状況、通貨分散等を勘案し決定します。

(ハ) 保有する債券の平均格付けは、原則として、BBB格相当^{*}以上とします。ただし、市場環境によってはBBB格相当を下回る場合があります。

* 格付記号は一般的なものを表示しており、格付機関により異なる記号を使用している場合があります。

(ニ) 市場動向に応じて対円での為替ヘッジを行う場合があります。

(ホ) 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(2) 投資対象

イ 投資対象とする資産の種類

投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

(イ) 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項の「特定資産」をいいます。以下同じ。）

1. 有価証券
2. デリバティブ取引にかかる権利
3. 約束手形
4. 金銭債権

(ロ) 特定資産以外の資産で、以下に掲げる資産

1. 為替手形

ロ 投資対象とする有価証券

委託会社は、信託金を、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

1. 株券または新株引受権証券
2. 国債証券
3. 地方債証券
4. 特別の法律により法人の発行する債券
5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
6. 特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
8. 協同組織金融機関にかかる優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
9. 特定目的会社にかかる優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
10. コマーシャル・ペーパー
11. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
12. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前各号の証券または証書の性質を有するもの
13. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるもの

をいいます。）

14. 投資証券もしくは投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
 15. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
 16. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限ります。）
 17. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
 18. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
 19. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
 20. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
 21. 外国の者に対する権利で前号の有価証券の性質を有するもの
- なお、第1号の証券または証書、第12号ならびに第17号の証券または証書のうち第1号の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、第2号から第6号までの証券および第12号ならびに第17号の証券または証書のうち第2号から第6号までの証券の性質を有するもの、および第14号の証券のうち投資法人債券を以下「公社債」といい、第13号の証券および第14号の証券（ただし、投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

八 投資対象とする金融商品

委託会社は、信託金を、上記口に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前号の権利の性質を有するもの

（3）投資制限

イ ファンドの信託約款に基づく主要な投資制限

- （イ）株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- （ロ）外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
- （ハ）投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- （ニ）一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

（グローバル好利回り株式マザーファンド）

（1）投資方針等

イ 基本方針

世界の主要国の上場株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

□ 投資態度

- (イ) 世界の主要国の上場株式を主要投資対象とします。
- (ロ) 主要国の好配当銘柄に分散投資を行い、配当収入等による安定収益に加え、中長期的な信託財産の成長を狙います。
配当利回りと増配期待に着目した銘柄選定を行います。
- (ハ) 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
- (ニ) 資金動向、市況動向等により上記の運用が困難となった場合、暫定的に上記と異なる運用を行う場合があります。

(2) 投資対象

イ 投資対象とする資産の種類

前記「参考情報：マザーファンドの投資方針等」において記載したG20債券マザーファンドが投資対象とする資産の種類に同じです。

ロ 投資対象とする有価証券

前記「参考情報：マザーファンドの投資方針等」において記載したG20債券マザーファンドが投資対象とする有価証券に同じです。

ハ 投資対象とする金融商品

前記「参考情報：マザーファンドの投資方針等」において記載したG20債券マザーファンドが投資対象とする金融商品に同じです。

(3) 投資制限

イ ファンドの信託約款に基づく主要な投資制限

- (イ) 株式への投資割合には制限を設けません。
- (ロ) 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
- (ハ) 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- (ニ) 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (ホ) 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- (ヘ) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

(新興国高配当株式マザーファンド)

(1) 投資方針等

イ 基本方針

新興国の高配当株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ロ 投資態度

- (イ) 主として、新興国の高配当株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
- (ロ) 銘柄選定にあたっては企業収益の成長性や財務健全性に加え、配当余力や配当政策などを勘案し、投資を行います。
- (ハ) 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
- (ニ) 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(2) 投資対象

イ 投資対象とする資産の種類

前記「参考情報：マザーファンドの投資方針等」において記載したG20 債券マザーファンドが投資対象とする資産の種類に同じです。

ロ 投資対象とする有価証券

前記「参考情報：マザーファンドの投資方針等」において記載したG20 債券マザーファンドが投資対象とする有価証券に同じです。

ハ 投資対象とする金融商品

前記「参考情報：マザーファンドの投資方針等」において記載したG20 債券マザーファンドが投資対象とする金融商品に同じです。

(3) 投資制限

イ ファンドの信託約款に基づく主要な投資制限

(イ) 株式への投資割合には制限を設けません。

(ロ) 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

(ハ) 投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

(ニ) 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

(ホ) 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

(ヘ) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

(グローバル・リート・マザーファンド)

(1) 投資方針等

イ 基本方針

主として日本を含む世界各国において上場(準ずるものを含みます。以下同じ。)しているリートに投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

ロ 投資態度

(イ) 主として日本を含む世界各国において上場しているリートに投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

(ロ) 安定的かつ相対的に高い配当収益の確保を目指すために、賃貸事業収入比率^{*}の高い銘柄を中心に分散投資します。

^{*} 賃貸事業収入比率：「賃貸事業収入÷営業収益」(実績ベース)

賃貸事業収入比率は、賃貸事業収入の営業収益全体に占める割合のことで、この比率が高いほど、安定的な配当原資を確保していると考えられます。賃貸事業収入比率はリートが発表する決算データに基づいて、BNPパリバ・アセットマネジメント・グループが分析した数値によって計算されたものを使用します。

(ハ) 外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行わないものとします。

(ニ) BNPパリバ・アセットマネジメント・ヨーロッパに資金配分(為替取引を含む)およびリートの運用指図に関する権限を委託します。

(ホ) なお資金動向、市場動向、残存信託期間等の事情によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(2) 投資対象

イ 投資対象とする資産の種類

前記「2 投資方針 (2) 投資対象 イ 投資対象とする資産の種類」において記載したベビーファンドが投資対象とする資産の種類に同じです。

ロ 投資対象とする有価証券

前記「2 投資方針 (2) 投資対象 ロ 投資対象とする有価証券」において記載したベビーファンドが投資対象とする有価証券の各号に投資します。ただし、第1号の証券にかかる運用の指図は買い現先取引(売戻条件付の買入れ)に限り行うことができるものとします。

ハ 投資対象とする金融商品

前記「2 投資方針 (2) 投資対象 ハ 投資対象とする金融商品」において記載したベビーファンドが投資対象とする金融商品に同じです。

(3) 投資制限

イ ファンドの信託約款に基づく主要な投資制限

(イ) 主要投資対象とするリート、コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等以外の有価証券への投資は、債券買い現先取引に限ります。

(ロ) 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

(ハ) リートへの投資割合には、制限を設けません。

(ニ) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

3【投資リスク】

イ ファンドのもつリスクの特性

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

(イ) 株式市場リスク

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

(ロ) 債券市場リスク

一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。

(ハ) 不動産投資信託(リート)に関するリスク

リートの価格は、不動産市況や金利・景気動向、関連法制度の変更等の影響を受け変動します。また、リートに組み入れられている個々の不動産等の市場価値や賃貸収入、個々のリートの事業活動や財務状況等によっても価格が変動します。これらにより、ファンドが組み入れているリートの価格が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

（二）信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

（ホ）為替変動リスク

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

（ヘ）カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。

（ト）流動性リスク

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

ロ その他の留意点

（イ）投資信託に関する留意点

- ・当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用するため、当ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・一部解約により資金の流出入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。
 - ・ファンドのお申込みに関しては、クーリング・オフ制度の適用はありません。
 - ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
- これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

ハ 投資リスクの管理体制

委託会社では、運用部門から独立した組織を設置し、運用リスク管理を行っています。

リスク管理担当部は、信託約款等に定める各種投資制限やリスク指標のモニタリングを実施し、制限に対する抵触等があった場合には運用部門に対処要請等を行い、結果をリスク管理会議へ報告します。

また、ファンドのパフォーマンスの分析・評価を行い、結果を運用評価会議等へ報告することで、運用方針等との整合性を維持するよう適切に管理しています。

さらに、流動性リスク管理について規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングやストレステストを実施するとともに、緊急時対応策等の策定や有効性の検証等を行います。なお、当該流動性リスクの適切な管理の実施等について、定期的にはリスク管理会議へ報告します。

コンプライアンス担当部は、法令・諸規則等の遵守状況の確認等を行い、結果をコンプライアンス会議に報告します。

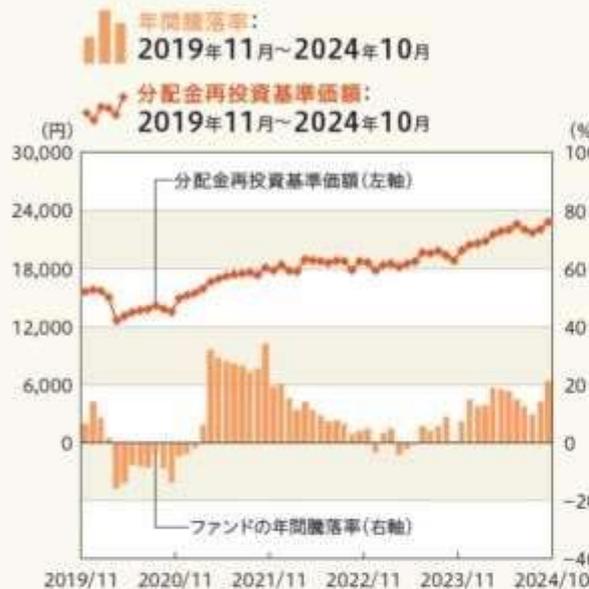
【参考情報】BNPパリバ・アセットマネジメント・グループの運用リスク管理体制

- ・BNPパリバ・アセットマネジメント・グループのリスク管理は、様々なレベルで行われます。ファンドのポートフォリオ・マネジャーは、ポートフォリオのポジションを毎日チェックし、戦略的トップダウン・ポリシーと整合性が取れているかどうか、また、運用ガイドラインで許容された範囲におさまっているかを確認します。
- ・ポートフォリオの運用リスクをマルチ・ファクター・モデルによる要因分析によって、正確に把握します。また、運用実績の要因分析によって、リスクとリターンの整合性もチェックします。
- ・運用ガイドラインとの整合性を分析・管理するシステムにより、遵守すべき運用ガイドラインと実際のポートフォリオの運用状況を運用部門だけではなく、リスク管理部門およびコンプライアンス部門も監視します。
- ・リスク管理部門およびコンプライアンス部門が、ポートフォリオが運用ガイドラインで許容されている配分からの逸脱を発見した場合には、運用部門に投資一任契約の規程に従って、逸脱を解消する行動を取るよう指示します。

（参考情報）投資リスクの定量的比較

「ファンドの年間騰落率および 分配金再投資基準価額の推移」

各月末におけるファンドの1年間の騰落率と分配金再投資基準価額の推移を表示したものです。



※年間騰落率、分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算したものです。
※分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額は基準価額と同じです。

「ファンドと他の代表的な 資産クラスとの騰落率の比較」

ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、各月末における1年間の騰落率の平均・最大・最小を比較したものです。



※ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額をもとに計算したものと異なります。
※すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPM総研または株式会社JPM総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。
※上記各指数に関する知的財産その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

原則として、申込金額（取得申込受付日の翌営業日の基準価額×申込口数）に、3.3%（税抜き3.0%）を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める申込手数料率を乗じて得た額となります。申込手数料は販売会社によるファンドの募集・販売の取扱い事務等の対価です。

累積投資契約に基づく収益分配金の再投資の場合は無手数料となります。

申込手数料に関する詳細は、お申込みの販売会社にお問い合わせください。

（２）【換金（解約）手数料】

解約手数料はありません。

ただし、解約の際には、１口につき解約請求受付日の翌営業日の基準価額に0.25%の率を乗じて得た信託財産留保額が差し引かれます。

（３）【信託報酬等】

純資産総額に年1.54%（税抜き1.4%）の率を乗じて得た金額が、毎日信託財産の費用として計上され、ファンドの基準価額に反映されます。

また、信託報酬は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支弁するものとします（投資対象とするリートにおいても、運用報酬等の負担があります。）。

信託報酬の配分は各販売会社の純資産残高に応じて以下の通りです。

< 信託報酬の配分（税抜き） >

各販売会社の純資産総額	委託会社	販売会社	受託会社
50億円未満の部分に対して	年0.700%	年0.650%	年0.05%
50億円以上100億円未満の部分に対して	年0.675%	年0.675%	年0.05%
100億円以上300億円未満の部分に対して	年0.650%	年0.700%	年0.05%
300億円以上500億円未満の部分に対して	年0.625%	年0.725%	年0.05%
500億円以上の部分に対して	年0.600%	年0.750%	年0.05%

上記の配分には別途消費税等相当額がかかります。

支払先	役務の内容
委託会社	ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価
販売会社	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

委託会社の報酬には、グローバル・リート・マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部の委託を受ける投資顧問会社の報酬（ファンドに組み入れられている当該マザーファンドの評価額に対して上限年0.5%）が含まれております。

（４）【その他の手数料等】

- イ 信託財産の財務諸表の監査に要する費用（消費税等相当額を含みます。）は、原則として、計算期間を通じて毎日、信託財産の費用として計上され、各計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支弁するものとします。
- ロ 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息は、信託財産中から支弁します。
- ハ 有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用、および外国における資産の保管等に要する費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）は、信託財産中から支弁するものとします。

上記にかかる費用に関しましては、変更される場合があるものや、その時々取引内容等により金額が決定し、実務上、その発生もしくは請求のつど、信託財産の費用として認識され、その時点の信託財産で負担することとなるものがあります。したがって、あらかじめ、その金額、上限額等を具体的に記載することはできません。

リートを主要投資対象とするマザーファンドでは、株式と同様に取引所等の市場で売買される多

数の銘柄のリートの中から、マザーファンドの約款上の選定基準に従って適宜組入銘柄を選定して分散投資を行い、また売却を行いますので、組み入れるリートの銘柄や構成比は流動的となります。

リートの多くは法人形態をとっており、その費用には、運用者等に支払う費用以外に、一般の会社と同じように多種多様なものがあり、また、国・地域によっては、開示する項目の基準が異なります。

したがって、委託会社において、マザーファンドが組み入れる様々なリートの費用等を網羅的に調査し、当ファンドへの投資等のための参考になるような情報として、その上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。

上記（１）～（４）にかかる手数料等および投資対象のリートの組入れを通じて間接的に負担する手数料等の合計額、その上限額、計算方法等は、手数料等に保有期間に応じて異なるものが含まれていたり、発生時・請求時に初めて具体的な金額を認識するものがあつたりすることから、あらかじめ具体的に記載することはできません。

（５）【課税上の取扱い】

イ 個別元本について

（イ）追加型株式投資信託について、受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等相当額は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

（ロ）受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合には、各販売会社毎に個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても同一受益者の顧客口座が複数存在する場合や、「分配金受取りコース」と「分配金自動再投資コース」を併用するファンドの場合には、別々に個別元本の算出が行われることがあります。

（ハ）受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。（「元本払戻金（特別分配金）」については、下記の（収益分配金の課税について）を参照。）

ロ 一部解約時および償還時の課税について

個人の受益者については、一部解約時および償還時の譲渡益が課税対象となり、法人の受益者については、一部解約時および償還時の個別元本超過額が課税対象となります。

ハ 収益分配金の課税について

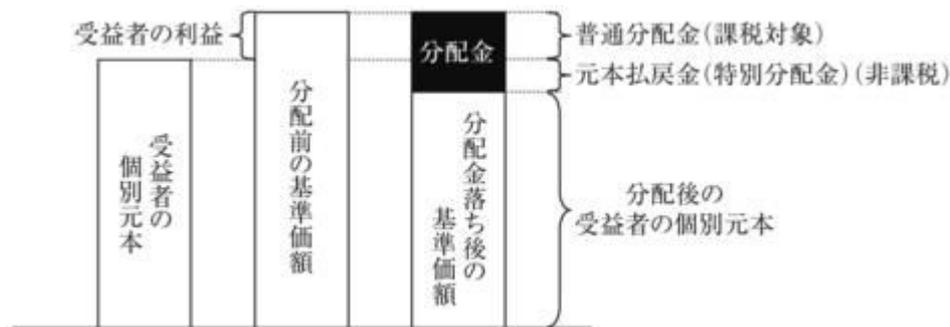
追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金（課税対象）となります。



収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部

分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。なお、受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。



上記の図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

二 個人、法人別の課税の取扱いについて

(イ) 個人の受益者に対する課税

・収益分配時

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、20.315%(所得税15.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収が行われ、申告不要制度が適用されます。確定申告による総合課税または申告分離課税の選択も可能です。

・一部解約時および償還時

一部解約時および償還時の譲渡益については、20.315%(所得税15.315%および地方税5%)の税率による申告分離課税が適用されます。ただし、特定口座(源泉徴収選択口座)の利用も可能です。

また、一部解約時および償還時の損失については、確定申告により、上場株式等(上場株式、公募株式投資信託、上場投資信託(ETF)、上場不動産投資信託(REIT)、公募公社債投資信託および特定公社債をいいます。以下同じ。)の譲渡益ならびに上場株式等の配当所得(申告分離課税を選択したものに限り)および利子所得の金額との損益通算が可能です。

(ロ) 法人の受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については、15.315%(所得税のみ)の税率で源泉徴収されます。

当ファンドは、課税上は株式投資信託として取り扱われます。

なお、当ファンドは、配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めいたします。

公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。

当ファンドは、NISAの対象ではありません。

上記「(5)課税上の取扱い」ほか税制に関する本書の記載は、2024年10月末現在の情報をもとに作成しています。税法の改正等により、変更されることがあります。

（参考情報）総経費率

直近の運用報告書の対象期間（2024年3月22日～2024年9月20日）における当ファンドの総経費率（年率換算）は以下の通りです。

総経費率①+②	①運用管理費用の比率	②その他費用の比率
1.67%	1.53%	0.14%

※上記は、対象期間の運用報告書に記載されている総経費率（原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税は含まれていません。）です。

※当ファンドが上場投資信託（ETF）および上場不動産投資信託（REIT）に投資している場合、当該ETFおよびREITの管理費用等は含まれていません。

※計算方法等の詳細は、対象期間の運用報告書（全体版）をご覧ください。なお、新たな対象期間にかかる運用報告書が作成され、上記の総経費率が更新されている場合があります。

運用報告書は、委託会社のホームページ（<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>）から検索いただけます。

5【運用状況】**（1）【投資状況】****グローバル3資産ファンド**

2024年10月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
親投資信託受益証券	日本	19,308,134,174	98.97
現金・預金・その他の資産（負債控除後）	-	201,493,955	1.03
合計（純資産総額）		19,509,628,129	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。以下同じ。

（2）【投資資産】**【投資有価証券の主要銘柄】****グローバル3資産ファンド****イ 主要投資銘柄**

2024年10月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資 信託受 益証券	グローバル・ リート・マザー ファンド	1,724,325,192	3.7356	6,441,389,187	3.7317	6,434,664,318	32.98
日本	親投資 信託受 益証券	G20 債券マ ザーファンド	3,543,952,345	1.7853	6,327,018,121	1.8110	6,418,097,696	32.90
日本	親投資 信託受 益証券	グローバル好利 回り株式マザー ファンド	778,314,748	5.5962	4,355,604,992	5.6542	4,400,747,248	22.56
日本	親投資 信託受 益証券	新興国高配当株 式マザーファン ド	1,154,997,421	1.7762	2,051,506,419	1.7789	2,054,624,912	10.53

以上が、当ファンドが保有する有価証券のすべてです。

□ 種類別投資比率

2024年10月31日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	98.97
合 計	98.97

【投資不動産物件】

グローバル3資産ファンド

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

グローバル3資産ファンド

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

グローバル3資産ファンド

年月日	純資産総額 (円)		1万口当たりの 純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
特定19期 (2015年 3月20日)	66,460,704,614	67,578,257,146	7,561	7,681
特定20期 (2015年 9月24日)	53,437,190,076	54,426,136,172	6,747	6,867
特定21期 (2016年 3月22日)	49,580,255,193	50,498,259,858	6,622	6,742
特定22期 (2016年 9月20日)	43,796,336,763	44,670,147,803	6,139	6,259
特定23期 (2017年 3月21日)	42,936,964,872	43,754,737,481	6,561	6,681
特定24期 (2017年 9月20日)	40,758,314,962	41,505,946,098	6,802	6,922
特定25期 (2018年 3月20日)	35,056,203,111	35,729,145,352	6,455	6,575
特定26期 (2018年 9月20日)	33,202,202,258	33,833,599,911	6,491	6,611
特定27期 (2019年 3月20日)	31,362,656,963	31,958,068,938	6,478	6,598
特定28期 (2019年 9月20日)	29,300,490,338	29,862,386,763	6,386	6,506
特定29期 (2020年 3月23日)	20,867,616,675	21,391,166,659	4,953	5,073
特定30期 (2020年 9月23日)	22,606,503,707	23,103,357,638	5,542	5,662
特定31期 (2021年 3月22日)	24,547,981,033	24,980,920,303	6,486	6,596
特定32期 (2021年 9月21日)	22,705,306,666	22,916,471,322	6,783	6,843
特定33期 (2022年 3月22日)	22,020,770,116	22,211,198,016	7,147	7,207
特定34期 (2022年 9月20日)	21,045,059,702	21,221,947,162	7,312	7,372
特定35期 (2023年 3月20日)	18,832,778,983	19,001,434,408	6,839	6,899
特定36期 (2023年 9月20日)	19,471,567,610	19,631,114,881	7,519	7,579

特定37期 (2024年 3月21日)	19,526,234,012	19,676,107,439	8,076	8,136
特定38期 (2024年 9月20日)	18,912,971,960	19,053,486,927	8,230	8,290
2023年10月末日	18,372,382,669	-	7,173	-
11月末日	19,191,646,044	-	7,570	-
12月末日	19,471,136,849	-	7,770	-
2024年 1月末日	19,296,932,710	-	7,814	-
2月末日	19,242,583,193	-	7,897	-
3月末日	19,659,157,600	-	8,150	-
4月末日	19,762,343,439	-	8,266	-
5月末日	19,660,489,255	-	8,310	-
6月末日	19,963,352,845	-	8,520	-
7月末日	19,244,683,473	-	8,294	-
8月末日	18,855,629,201	-	8,175	-
9月末日	19,044,404,335	-	8,294	-
10月末日	19,509,628,129	-	8,568	-

(注1) 分配付純資産総額(分配付1万口当たりの純資産額)は、特定期間中の分配金累計額(1万口当たりの分配金累計額)を当該特定期間末の分配落純資産総額(分配落1万口当たりの純資産額)に加算したものです。

(注2) 各月末日の数字は最終営業日のものです。

【分配の推移】

グローバル3資産ファンド

	計算期間	1万口当たり分配金(円)
特定19期	2014年 9月23日～2015年 3月20日	120
特定20期	2015年 3月21日～2015年 9月24日	120
特定21期	2015年 9月25日～2016年 3月22日	120
特定22期	2016年 3月23日～2016年 9月20日	120
特定23期	2016年 9月21日～2017年 3月21日	120
特定24期	2017年 3月22日～2017年 9月20日	120
特定25期	2017年 9月21日～2018年 3月20日	120
特定26期	2018年 3月21日～2018年 9月20日	120
特定27期	2018年 9月21日～2019年 3月20日	120
特定28期	2019年 3月21日～2019年 9月20日	120
特定29期	2019年 9月21日～2020年 3月23日	120
特定30期	2020年 3月24日～2020年 9月23日	120
特定31期	2020年 9月24日～2021年 3月22日	110
特定32期	2021年 3月23日～2021年 9月21日	60
特定33期	2021年 9月22日～2022年 3月22日	60
特定34期	2022年 3月23日～2022年 9月20日	60
特定35期	2022年 9月21日～2023年 3月20日	60
特定36期	2023年 3月21日～2023年 9月20日	60
特定37期	2023年 9月21日～2024年 3月21日	60
特定38期	2024年 3月22日～2024年 9月20日	60

【収益率の推移】

グローバル3資産ファンド

	収益率（％）
特定19期	6.5
特定20期	9.2
特定21期	0.1
特定22期	5.5
特定23期	8.8
特定24期	5.5
特定25期	3.3
特定26期	2.4
特定27期	1.6
特定28期	0.4
特定29期	20.6
特定30期	14.3
特定31期	19.0
特定32期	5.5
特定33期	6.3
特定34期	3.1
特定35期	5.6
特定36期	10.8
特定37期	8.2
特定38期	2.6

（注）収益率とは、特定期間末の基準価額（当該特定期間中の分配金累計額を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落ちの額。以下「前特定期間末基準価額」といいます。）を控除した額を前特定期間末基準価額で除したものをいいます。

（４）【設定及び解約の実績】

グローバル3資産ファンド

	設定口数（口）	解約口数（口）
特定19期	192,133,413	13,625,640,234
特定20期	163,522,288	8,851,753,822
特定21期	141,955,794	4,474,072,250
特定22期	150,653,172	3,685,336,844
特定23期	122,823,555	6,021,476,978
特定24期	91,659,727	5,609,552,819
特定25期	91,387,933	5,703,856,181
特定26期	82,990,722	3,244,512,026
特定27期	79,426,217	2,815,347,019
特定28期	77,814,249	2,606,855,638
特定29期	85,555,554	3,842,059,070

特定30期	112,986,144	1,451,539,054
特定31期	91,565,559	3,035,071,426
特定32期	44,863,957	4,416,114,373
特定33期	45,692,016	2,708,360,415
特定34期	52,262,618	2,083,738,327
特定35期	41,836,099	1,283,034,416
特定36期	24,605,231	1,666,323,750
特定37期	24,252,696	1,744,057,806
特定38期	19,312,000	1,216,227,328

(注) 本邦外における設定および解約の実績はありません。

(参考)

(1) 投資状況

G20 債券マザーファンド

2024年10月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
国債証券	アメリカ	2,373,244,284	36.98
	スペイン	482,411,580	7.52
	中国	475,482,029	7.41
	フランス	426,073,746	6.64
	日本	370,614,230	5.77
	ドイツ	308,974,999	4.81
	イタリア	300,294,535	4.68
	イギリス	298,059,366	4.64
	カナダ	126,184,773	1.97
	ベルギー	80,787,687	1.26
	オーストラリア	72,268,504	1.13
	メキシコ	42,647,248	0.66
	マレーシア	32,553,716	0.51
	シンガポール	24,321,454	0.38
	デンマーク	22,281,832	0.35
	ニュージーランド	15,526,658	0.24
イスラエル	13,746,323	0.21	
小計		5,465,472,964	85.16
特殊債券	国際機関	646,606,025	10.07
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	-	306,058,329	4.77
合計(純資産総額)		6,418,137,318	100.00

その他以下の取引を行っております。

種類	買建/ 売建	国/地域	時価合計(円)	投資比率 (%)
為替予約取引	買建	-	201,752,698	3.14
為替予約取引	売建	-	189,888,837	2.96

グローバル好利回り株式マザーファンド

2024年10月31日現在

資産の種類	国 / 地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
株式	アメリカ	1,903,542,555	43.25
	フランス	499,306,947	11.35
	日本	328,812,000	7.47
	スイス	206,663,194	4.70
	イギリス	201,032,853	4.57
	香港	199,012,728	4.52
	スペイン	193,435,811	4.40
	ドイツ	179,823,908	4.09
	オランダ	157,791,406	3.59
	ケイマン諸島	124,084,428	2.82
	オーストリア	113,613,990	2.58
	シンガポール	89,791,716	2.04
	スウェーデン	48,082,020	1.09
	オーストラリア	39,951,727	0.91
	小計	4,284,945,283	97.37
現金・預金・その他の資産（負債控除後）	-	115,805,575	2.63
合計（純資産総額）		4,400,750,858	100.00

新興国高配当株式マザーファンド

2024年10月31日現在

資産の種類	国 / 地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
株式	台湾	397,174,428	19.33
	韓国	275,875,903	13.43
	中国	235,379,507	11.46
	ケイマン諸島	139,890,296	6.81
	インドネシア	117,074,210	5.70
	マレーシア	98,642,333	4.80
	タイ	96,900,212	4.72
	ブラジル	84,996,720	4.14
	インド	73,553,264	3.58
	メキシコ	70,942,158	3.45
	南アフリカ	56,361,255	2.74
	香港	52,667,280	2.56
	オランダ	51,819,684	2.52
	フィリピン	32,839,365	1.60
	トルコ	17,459,545	0.85
	チリ	15,390,490	0.75
	パナマ	15,233,406	0.74
	チェコ	14,132,650	0.69
	ロシア	-	0.00
	小計	1,846,332,706	89.86

投資証券	メキシコ	44,823,034	2.18
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	-	163,418,153	7.96
合計(純資産総額)		2,054,573,893	100.00

グローバル・リート・マザーファンド

2024年10月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
投資証券	アメリカ	19,103,664,319	46.34
	日本	6,282,887,200	15.24
	オーストラリア	3,356,149,094	8.14
	イギリス	3,052,716,832	7.40
	シンガポール	2,415,872,121	5.86
	カナダ	1,537,424,117	3.73
	フランス	1,454,235,444	3.53
	香港	1,285,776,270	3.12
	スペイン	1,124,161,115	2.73
	小計	39,612,886,512	96.09
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	-	1,612,827,587	3.91
合計(純資産総額)		41,225,714,099	100.00

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

G20 債券マザーファンド

イ 主要投資銘柄(上位30銘柄)

2024年10月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
アメリカ	国債 証券	US TREASURY N/B	2,898,000	15,742.83	456,227,244	15,482.76	448,690,492	4.375	2034/05/15	6.99
アメリカ	国債 証券	US TREASURY N/B	2,500,000	14,699.86	367,496,576	14,561.85	364,046,139	2.875	2029/04/30	5.67
アメリカ	国債 証券	US TREASURY N/B	2,140,000	15,378.90	329,108,525	15,361.23	328,730,417	4.250	2026/01/31	5.12
アメリカ	国債 証券	US TREASURY N/B	2,000,000	15,385.61	307,712,112	15,317.14	306,342,796	4.000	2027/01/15	4.77
アメリカ	国債 証券	US TREASURY N/B	1,900,000	15,500.74	294,514,052	15,287.95	290,471,015	4.125	2031/07/31	4.53
国際 機関	特殊 債券	INTER- AMERICAN DEVEL BK	100,000,000	187.87	187,871,360	186.36	186,355,200	7.350	2030/10/06	2.90
スペ イン	国債 証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1,200,000	15,385.51	184,626,131	15,366.50	184,398,044	0.000	2028/01/31	2.87
日本	国債 証券	18720 年国債	197,000,000	93.00	183,210,000	93.08	183,371,540	1.300	2043/12/20	2.86
スペ イン	国債 証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1,200,000	14,897.66	178,771,907	14,833.47	178,001,614	0.500	2030/04/30	2.77

フランス	国債証券	FRANCE OAT.	1,100,000	15,741.31	173,154,440	15,718.97	172,908,680	0.750	2028/02/25	2.69
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1,510,000	10,939.01	165,179,116	10,682.13	161,300,137	2.000	2041/11/15	2.51
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1,460,000	9,204.88	134,391,243	8,976.42	131,055,688	1.875	2051/11/15	2.04
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	760,000	14,355.66	109,103,021	13,994.91	106,361,346	3.875	2043/05/15	1.66
国際機関	特殊債券	INT BK RECON & DEVELOP	51,000,000	180.77	92,191,231	179.97	91,784,904	6.500	2030/04/17	1.43
カナダ	国債証券	CANADIAN GOVERNMENT	910,000	9,983.63	90,851,021	10,000.29	91,002,680	1.250	2030/06/01	1.42
日本	国債証券	7 3 3 0 年 国債	127,000,000	70.86	89,994,740	70.90	90,041,730	0.700	2051/12/20	1.40
ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	650,000	13,887.61	90,269,456	13,716.54	89,157,533	1.000	2038/05/15	1.39
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	570,000	14,390.54	82,026,060	14,269.47	81,335,971	2.375	2029/03/31	1.27
ベルギー	国債証券	BELGIUM KINGDOM	540,000	15,048.55	81,262,167	14,960.68	80,787,687	1.000	2031/06/22	1.26
中国	国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND	3,600,000	2,237.04	80,533,288	2,242.40	80,726,324	2.670	2033/11/25	1.26
中国	国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND	3,500,000	2,235.31	78,235,955	2,244.53	78,558,543	2.690	2032/08/15	1.22
イギリス	国債証券	UK GILT	400,000	19,687.06	78,748,257	19,338.40	77,353,594	4.500	2042/12/07	1.21
中国	国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND	3,000,000	2,579.26	77,377,909	2,569.57	77,087,192	3.390	2050/03/16	1.20
フランス	国債証券	FRANCE OAT.	400,000	19,147.44	76,589,759	18,992.55	75,970,191	4.500	2041/04/25	1.18
ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	450,000	16,917.26	76,127,667	16,803.55	75,615,973	2.400	2030/11/15	1.18
国際機関	特殊債券	EUROPEAN BK RECON & DEV	40,000,000	178.11	71,245,536	178.87	71,548,768	5.250	2027/01/12	1.11
日本	国債証券	3 7 5 1 0 年国債	70,000,000	101.65	71,152,200	101.82	71,272,600	1.100	2034/06/20	1.11
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	400,000	17,528.66	70,114,633	17,445.29	69,781,173	4.000	2030/11/15	1.09
国際機関	特殊債券	EUROPEAN BK RECON & DEV	18,000,000	380.14	68,426,091	387.16	69,688,145	0.000	2025/03/25	1.09
国際機関	特殊債券	EUROPEAN BK RECON & DEV	23,000,000	292.12	67,187,886	299.73	68,937,646	0.000	2026/01/26	1.07

□ 種類別投資比率

2024年10月31日現在

種類	投資比率(%)
国債証券	85.16
特殊債券	10.07

合 計	95.23
-----	-------

グローバル好利回り株式マザーファンド

イ 主要投資銘柄（上位30銘柄）

2024年10月31日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
フランス	株式	TOTALENERGIES SE	エネルギー	19,000	9,973.47	189,495,931	9,860.41	187,347,831	4.26
アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	5,400	34,552.67	186,584,407	34,478.35	186,183,102	4.23
ドイツ	株式	DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	電気通信 サービス	38,423	4,715.12	181,169,224	4,680.11	179,823,908	4.09
アメリカ	株式	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	10,000	18,438.34	184,383,364	17,928.25	179,282,516	4.07
アメリカ	株式	WILLIAMS COS INC	エネルギー	20,000	8,044.59	160,891,808	8,064.56	161,291,272	3.67
アメリカ	株式	CHEVRON CORP	エネルギー	6,991	23,161.23	161,920,158	22,746.40	159,020,096	3.61
フランス	株式	SCHNEIDER ELECTRIC SE	資本財	3,800	41,023.92	155,890,882	40,398.68	153,514,980	3.49
アメリカ	株式	PEPSICO INC	食品・飲料・タバコ	6,000	26,896.22	161,377,310	25,536.50	153,219,026	3.48
アメリカ	株式	MERCK & CO. INC.	医薬品・ バイオテクノロジー・ ライフサイエンス	8,600	16,700.67	143,625,744	16,106.08	138,512,298	3.15
アメリカ	株式	HOME DEPOT INC	一般消費財・サービス流通・小売り	2,200	63,760.60	140,273,320	60,306.77	132,674,900	3.01
オランダ	株式	ING GROEP NV	銀行	48,617	2,664.35	129,532,480	2,593.32	126,079,360	2.86
ケイマン諸島	株式	SITC INTERNATIONAL HOLDINGS	運輸	284,000	426.04	120,996,354	436.92	124,084,428	2.82
イギリス	株式	ASHTED GROUP PLC	資本財	9,967	11,745.57	117,068,098	11,546.56	115,084,565	2.62
アメリカ	株式	NEXTERA ENERGY INC	公益事業	9,428	12,964.14	122,225,942	12,151.39	114,563,282	2.60
オーストリア	株式	BAWAG GROUP AG	銀行	9,700	11,862.84	115,069,543	11,712.78	113,613,990	2.58
香港	株式	TECHTRONIC INDUSTRIES CO LTD	資本財	50,000	2,303.21	115,160,250	2,237.96	111,898,200	2.54
スイス	株式	SIKA AG-REG	素材	2,424	45,208.95	109,586,494	43,028.28	104,300,557	2.37

アメリカ	株式	ARES MANAGEMENT CORP - A	金融サービス	4,000	26,101.90	104,407,598	25,965.16	103,860,640	2.36
スイス	株式	PARTNERS GROUP HOLDING AG	金融サービス	466	228,615.46	106,534,802	219,662.31	102,362,636	2.33
アメリカ	株式	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	食品・飲料・タバコ	5,000	18,469.06	92,345,322	20,297.38	101,486,902	2.31
スペイン	株式	IBERDROLA SA	公益事業	44,000	2,332.55	102,632,318	2,294.20	100,945,011	2.29
スペイン	株式	BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTA	銀行	61,000	1,548.92	94,484,223	1,516.24	92,490,799	2.10
シンガポール	株式	DBS GROUP HOLDINGS LTD	銀行	20,000	4,610.36	92,207,220	4,489.59	89,791,716	2.04
香港	株式	AIA GROUP LTD	保険	72,000	1,253.42	90,246,096	1,209.92	87,114,528	1.98
日本	株式	オリックス	その他金融業	26,500	3,265.00	86,522,500	3,270.00	86,655,000	1.97
日本	株式	大和ハウス工業	建設業	18,900	4,520.00	85,428,000	4,571.00	86,391,900	1.96
イギリス	株式	ASTRAZENECA PLC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3,854	23,773.73	91,623,973	22,301.06	85,948,287	1.95
アメリカ	株式	BOOZ ALLEN HAMILTON HOLDINGS	商業・専門サービス	2,630	25,183.13	66,231,638	28,189.87	74,139,350	1.68
アメリカ	株式	AMERICAN WATER WORKS CO INC	公益事業	3,468	21,810.73	75,639,626	20,847.41	72,298,823	1.64
日本	株式	三井物産	卸売業	22,000	3,145.00	69,190,000	3,162.00	69,564,000	1.58

□ 種類別・業種別投資比率

2024年10月31日現在

種類	業種	投資比率(%)
株式(国内)	建設業	1.96
	食料品	1.43
	情報・通信業	0.53
	卸売業	1.58
	その他金融業	1.97
株式(外国)	エネルギー	15.61
	素材	3.75
	資本財	9.74
	商業・専門サービス	2.59
	運輸	2.82
	耐久消費財・アパレル	0.79
	消費者サービス	1.02
	一般消費財・サービス流通・小売り	3.01
	食品・飲料・タバコ	5.79
	家庭用品・パーソナル用品	2.36

医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.51
銀行	13.82
金融サービス	4.69
保険	1.98
半導体・半導体製造装置	4.80
電気通信サービス	4.09
公益事業	6.54
合計	97.37

新興国高配当株式マザーファンド

イ 主要投資銘柄(上位30銘柄)

2024年10月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	業種	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
台湾	株式	MEDIATEK INC	半導体・半導体製造装置	17,000	5,370.62	91,300,608	6,185.81	105,158,736	5.12
韓国	株式	MACQUARIE KOREA INFRA FUND	金融サービス	78,798	1,316.06	103,702,566	1,322.46	104,207,203	5.07
台湾	株式	HON HAI PRECISION INDUSTRY	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	100,000	846.35	84,635,280	1,014.18	101,418,480	4.94
中国	株式	CHINA MERCHANTS BANK-H	銀行	89,500	601.01	53,790,216	754.23	67,503,182	3.29
タイ	株式	TISCO FINANCIAL GROUP-NVDR	銀行	130,200	443.63	57,759,975	437.94	57,019,462	2.78
インドネシア	株式	TELKOM INDONESIA PERSERO TBK	電気通信サービス	1,860,000	30.77	57,235,920	28.42	52,861,200	2.57
中国	株式	CHINA COMMUNICATIONS SERVI-H	資本財	630,000	74.93	47,204,829	83.82	52,809,624	2.57
ブラジル	株式	ITAU UNIBANCO H-SPON PRF ADR	銀行	55,000	1,032.46	56,785,344	943.35	51,884,228	2.53
オランダ	株式	CTP NV	不動産管理・開発	20,000	2,744.38	54,887,516	2,590.98	51,819,684	2.52
マレーシア	株式	UCHI TECHNOLOGIES BHD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	351,900	137.14	48,260,572	135.39	47,643,429	2.32
南アメリカ	株式	BID CORP LTD	生活必需品流通・小売り	12,318	3,858.53	47,529,419	3,671.26	45,222,633	2.20
台湾	株式	ASE TECHNOLOGY HOLDING CO LT	半導体・半導体製造装置	60,000	728.87	43,732,224	752.85	45,170,784	2.20

メキシコ	投資証券	TRUST FIBRA UNO	-	253,000	176.18	44,572,626	177.17	44,823,034	2.18
韓国	株式	SK TELECOM	電気通信サービス	7,000	6,517.44	45,622,080	6,350.04	44,450,280	2.16
インド	株式	ITC LTD	食品・飲料・タバコ	46,000	935.18	43,018,280	904.45	41,604,792	2.02
台湾	株式	ACTER GROUP CORP LTD	資本財	24,000	1,577.62	37,862,899	1,707.09	40,970,188	1.99
ケイマン諸島	株式	CHINA RESOURCES LAND LTD	不動産管理・開発	78,000	411.22	32,074,848	497.22	38,782,809	1.89
中国	株式	CHINA PACIFIC INSURANCE GR-H	保険	70,000	417.15	29,200,290	542.69	37,988,055	1.85
インドネシア	株式	BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	銀行	798,800	52.92	42,272,496	46.16	36,871,010	1.79
メキシコ	株式	COCA-COLA FEMSA SAB-SP ADR	食品・飲料・タバコ	2,800	14,088.79	39,448,606	13,047.11	36,531,904	1.78
メキシコ	株式	WALMART DE MEXICO SAB DE CV	生活必需品流通・小売り	81,922	466.25	38,196,193	420.04	34,410,254	1.67
ブラジル	株式	PETROLEO BRASILEIRO-SPON ADR	エネルギー	16,000	2,249.29	35,988,633	2,069.53	33,112,492	1.61
フィリピン	株式	INTL CONTAINER TERM SVCS INC	運輸	30,000	1,062.47	31,873,966	1,094.65	32,839,365	1.60
韓国	株式	SAMSUNG ELECTRONICS-PREF	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6,000	5,859.00	35,154,000	5,429.34	32,576,040	1.59
中国	株式	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	銀行	270,000	109.92	29,678,724	118.03	31,867,263	1.55
中国	株式	MIDEA GROUP CO LTD-A	耐久消費財・アパレル	20,000	1,405.78	28,115,573	1,566.64	31,332,843	1.53
マレーシア	株式	BERMAZ AUTO BHD	一般消費財・サービス流通・小売り	400,000	79.97	31,988,308	72.25	28,901,717	1.41
ケイマン諸島	株式	CHAILEASE HOLDING CO LTD	金融サービス	39,364	694.08	27,321,802	726.47	28,596,875	1.39
台湾	株式	REALTEK SEMICONDUCTOR CORP	半導体・半導体製造装置	12,000	2,293.77	27,525,258	2,294.50	27,534,038	1.34
インドネシア	株式	AKR CORPORINDO TBK PT	エネルギー	2,000,000	14.41	28,812,000	13.67	27,342,000	1.33

□ 種類別・業種別投資比率

2024年10月31日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式（外国）	エネルギー	3.61
	資本財	6.93
	運輸	3.75
	自動車・自動車部品	2.59
	耐久消費財・アパレル	2.48
	一般消費財・サービス流通・小売り	2.60
	生活必需品流通・小売り	3.88
	食品・飲料・タバコ	4.49
	銀行	15.63
	金融サービス	7.52
	保険	1.85
	ソフトウェア・サービス	1.55
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	10.46
	半導体・半導体製造装置	9.44
	電気通信サービス	5.08
公益事業	0.77	
メディア・娯楽	1.55	
不動産管理・開発	5.68	
投資証券	-	2.18
合計		92.05

グローバル・リート・マザーファンド

イ 主要投資銘柄（上位30銘柄）

2024年10月31日現在

国／地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価 （円）	帳簿価額 （円）	評価額 単価 （円）	評価額 （円）	投資 比率 （％）
アメリカ	投資証券	PUBLIC STORAGE	45,821	53,411.41	2,447,364,199	51,596.92	2,364,222,526	5.73
アメリカ	投資証券	REALTY INCOME CORP	196,275	9,868.30	1,936,900,032	9,292.15	1,823,816,191	4.42
アメリカ	投資証券	VICI PROPERTIES INC	363,288	5,093.17	1,850,286,089	4,981.01	1,809,540,724	4.39
アメリカ	投資証券	BXP INC	127,699	13,428.14	1,714,759,539	12,713.71	1,623,528,053	3.94
アメリカ	投資証券	SIMON PROPERTY GROUP INC	50,009	26,891.61	1,344,822,484	26,438.37	1,322,156,505	3.21
香港	投資証券	LINK REIT	1,776,960	751.26	1,334,958,969	723.58	1,285,776,270	3.12
アメリカ	投資証券	FEDERAL REALTY INVS TRUST	68,480	17,438.14	1,194,163,827	17,553.37	1,202,054,777	2.92
アメリカ	投資証券	CARETRUST REIT INC	224,421	4,764.38	1,069,226,116	5,040.93	1,131,290,192	2.74
日本	投資証券	G L P 投資法人	8,314	131,200.00	1,090,796,800	134,100.00	1,114,907,400	2.70

アメリカ	投資証券	VENTAS INC	101,942	9,934.36	1,012,728,771	10,213.99	1,041,234,283	2.53
オーストラリア	投資証券	SCENTRE GROUP	2,803,936	364.07	1,020,824,773	352.98	989,719,309	2.40
シンガポール	投資証券	CAPITALAND INTEGRATED COMMER	4,169,359	242.71	1,011,952,210	234.58	978,059,074	2.37
イギリス	投資証券	LAND SECURITIES GROUP PLC	772,545	1,310.48	1,012,405,427	1,230.88	950,907,755	2.31
アメリカ	投資証券	UDR INC	137,433	6,889.22	946,805,842	6,691.02	919,567,226	2.23
オーストラリア	投資証券	STOCKLAND	1,747,834	539.55	943,039,465	521.39	911,311,034	2.21
フランス	投資証券	KLEPIERRE	184,361	5,015.24	924,614,366	4,921.87	907,400,801	2.20
日本	投資証券	インヴィンシブル投資法人	13,531	61,300.00	829,450,300	62,300.00	842,981,300	2.04
イギリス	投資証券	BRITISH LAND CO PLC	985,677	879.23	866,633,022	823.11	811,316,021	1.97
カナダ	投資証券	DREAM INDUSTRIAL REAL ESTATE	493,030	1,541.87	760,187,623	1,483.37	731,347,291	1.77
シンガポール	投資証券	MAPLETREE LOGISTICS TRUST	4,389,421	163.87	719,304,095	154.45	677,958,802	1.64
日本	投資証券	大和証券オフィス投資法人	2,153	302,500.00	651,282,500	301,000.00	648,053,000	1.57
アメリカ	投資証券	WELLTOWER INC	30,046	20,026.97	601,730,460	21,271.46	639,122,227	1.55
アメリカ	投資証券	HEALTHPEAK PROPERTIES INC	181,445	3,486.09	632,533,890	3,490.70	633,370,206	1.54
アメリカ	投資証券	KITE REALTY GROUP TRUST	157,730	4,022.65	634,491,904	4,000.79	631,043,912	1.53
スペイン	投資証券	MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	355,342	1,862.37	661,779,737	1,733.99	616,160,185	1.49
日本	投資証券	ジャパンエクセレント投資法人	5,190	117,800.00	611,382,000	117,900.00	611,901,000	1.48
イギリス	投資証券	TRITAX BIG BOX REIT PLC	1,988,649	315.43	627,281,243	295.73	588,100,900	1.43
アメリカ	投資証券	REGENCY CENTERS CORP	52,648	11,100.49	584,418,597	11,169.63	588,058,574	1.43
アメリカ	投資証券	AGREE REALTY CORP	49,625	11,782.65	584,714,085	11,529.15	572,133,850	1.39
日本	投資証券	C R E ロジスティクスファンド投資法人	4,028	141,300.00	569,156,400	139,400.00	561,503,200	1.36

□ 種類別投資比率

2024年10月31日現在

種類	投資比率(%)
投資証券	96.09
合計	96.09

投資不動産物件

G20 債券マザーファンド

該当事項はありません。

グローバル好利回り株式マザーファンド

該当事項はありません。

新興国高配当株式マザーファンド

該当事項はありません。

グローバル・リート・マザーファンド

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

G20 債券マザーファンド

2024年10月31日現在

種類	資産の名称	買建/ 売建	数量	簿価 (円)	時価 (円)	投資 比率 (%)
為替予約 取引	ユーロ	買建	523,000.00	85,872,974	86,537,724	1.35
	アメリカ・ドル	買建	423,000.00	63,967,743	64,256,068	1.00
	ポーランド・ズロチ	買建	810,000.00	30,039,878	30,548,826	0.48
	スウェーデン・クローナ	買建	750,000.00	10,552,747	10,707,450	0.17
	ノルウェー・クローネ	買建	700,000.00	9,445,632	9,702,630	0.15
	オフショア・人民元	売建	6,980,000.00	149,377,549	150,130,663	2.34
	カナダ・ドル	売建	165,000.00	17,671,575	18,059,250	0.28
	アメリカ・ドル	売建	99,000.00	14,595,222	15,038,654	0.23
	デンマーク・クローネ	売建	300,000.00	6,477,165	6,660,270	0.10

(注) 日本における対顧客先物相場の仲値で評価しております。

グローバル好利回り株式マザーファンド

該当事項はありません。

新興国高配当株式マザーファンド

該当事項はありません。

グローバル・リート・マザーファンド

該当事項はありません。

参考情報

基準日:2024年10月31日

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。
※委託会社ホームページにおいてもファンドの運用状況は適宜開示しています。

基準価額・純資産の推移



※分配金再投資基準価額、基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

※分配金再投資基準価額は、上記期間における分配金(税引前)を分配時に再投資したものと仮定して計算した価額です。

分配の推移

決算期	分配金
2024年10月	10円
2024年9月	10円
2024年8月	10円
2024年7月	10円
2024年6月	10円
直近1年間累計	120円
設定来累計	7,230円

※分配金は1万口当たり、税引前です。

※直近5計算期間を記載しています。

主要な資産の状況

■グローバル3資産ファンド

資産別構成

資産の種類	国・地域	比率(%)
親投資信託受益証券	日本	98.97
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		1.03
合計(純資産総額)		100.00

主要投資銘柄(上位10銘柄)

国・地域	種類	銘柄名	比率(%)
日本	親投資信託受益証券	グローバル・リート・マザーファンド	32.98
日本	親投資信託受益証券	G20α債券マザーファンド	32.90
日本	親投資信託受益証券	グローバル好利回り株式マザーファンド	22.56
日本	親投資信託受益証券	新興国高配当株式マザーファンド	10.53

G20α債券マザーファンド

資産別構成

資産の種類	国・地域	比率(%)
国債証券	アメリカ	36.98
	スペイン	7.52
	中国	7.41
	フランス	6.64
	日本	5.77
	ドイツ	4.81
	その他	16.03
特殊債券	国際機関	10.07
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		4.77
合計(純資産総額)		100.00

主要投資銘柄(上位10銘柄)

国・地域	種類	銘柄名	利率(%)	償還期限	比率(%)
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	4.375	2034/05/15	6.99
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	2.875	2029/04/30	5.67
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	4.250	2026/01/31	5.12
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	4.000	2027/01/15	4.77
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	4.125	2031/07/31	4.53
国際機関	特殊債券	INTER-AMERICAN DEVEL BK	7.350	2030/10/06	2.90
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	0.000	2028/01/31	2.87
日本	国債証券	187 20年国債	1.300	2043/12/20	2.86
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	0.500	2030/04/30	2.77
フランス	国債証券	FRANCE OAT.	0.750	2028/02/25	2.69

※比率は、ファンド、マザーファンドのそれぞれの純資産総額に対する時価の比率です。

※「主要投資銘柄(上位10銘柄)」は組入有価証券が10銘柄に満たない場合はすべてを記載しています。


グローバル好利回り株式マザーファンド

資産別構成

資産の種類	国・地域	比率(%)
株式	アメリカ	43.25
	フランス	11.35
	日本	7.47
	スイス	4.70
	イギリス	4.57
	香港	4.52
	スペイン	4.40
	その他	17.11
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		2.63
合計(純資産総額)		100.00

主要投資銘柄(上位10銘柄)

国・地域	種類	銘柄名	業種	比率(%)
フランス	株式	TOTALENERGIES SE	エネルギー	4.26
アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	4.23
ドイツ	株式	DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	電気通信サービス	4.09
アメリカ	株式	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	4.07
アメリカ	株式	WILLIAMS COS INC	エネルギー	3.67
アメリカ	株式	CHEVRON CORP	エネルギー	3.61
フランス	株式	SCHNEIDER ELECTRIC SE	資本財	3.49
アメリカ	株式	PEPSICO INC	食品・飲料・タバコ	3.48
アメリカ	株式	MERCK & CO. INC.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.15
アメリカ	株式	HOME DEPOT INC	一般消費財・サービス流通・小売り	3.01


新興国高配当株式マザーファンド

資産別構成

資産の種類	国・地域	比率(%)
株式	台湾	19.33
	韓国	13.43
	中国	11.46
	ケイマン諸島	6.81
	インドネシア	5.70
	マレーシア	4.80
	その他	28.34
投資証券	メキシコ	2.18
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		7.96
合計(純資産総額)		100.00

主要投資銘柄(上位10銘柄)

国・地域	種類	銘柄名	業種	比率(%)
台湾	株式	MEDIATEK INC	半導体・半導体製造装置	5.12
韓国	株式	MACQUARIE KOREA INFRA FUND	金融サービス	5.07
台湾	株式	HON HAI PRECISION INDUSTRY	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.94
中国	株式	CHINA MERCHANTS BANK-H	銀行	3.29
タイ	株式	TISCO FINANCIAL GROUP-NVDR	銀行	2.78
インドネシア	株式	TELKOM INDONESIA PERSERO TBK	電気通信サービス	2.57
中国	株式	CHINA COMMUNICATIONS SERVIH	資本財	2.57
ブラジル	株式	ITAU UNIBANCO H-SPON PRF ADR	銀行	2.53
オランダ	株式	CTP NV	不動産管理・開発	2.52
マレーシア	株式	UCHI TECHNOLOGIES BHD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.32

*比率は、マザーファンドのそれぞれの純資産総額に対する時価の比率です。



第2【管理及び運営】

1【申込(販売)手続等】

イ 申込方法

(イ) ファンドの取得申込者は、お申込みを取り扱う販売会社に取引口座を開設の上、当ファンドの取得申込みを行っていただきます。

当ファンドには、「分配金受取りコース」と「分配金自動再投資コース」の2つの申込方法がありますが、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。お申込みの販売会社にお問い合わせください。

(ロ) 原則として午後3時30分までに、取得申込みが行われ販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、お申込みの販売会社にご確認ください。

また、取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受け付けを中止させていただく場合、既に受け付けた取得申込みを取り消させていただく場合があります。

(ハ) 当ファンドの取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。

販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。

ファンドのお買付けに関しましては、クーリング・オフ制度の適用はありません。

(ニ) 定時定額で取得申込みをする「定時定額購入サービス」(販売会社によっては、名称が異なる場合があります。)を利用する場合は、販売会社との間で「定時定額購入サービス」に関する

契約を締結します。詳細については、お申込みの販売会社にお問い合わせください。

ロ 申込価額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額となります。

ただし、累積投資契約に基づく収益分配金の再投資の場合は、各計算期末の基準価額となります。

ハ 申込手数料

原則として、申込金額(取得申込受付日の翌営業日の基準価額×申込口数)に、3.3%(税抜き3.0%)を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める申込手数料率を乗じて得た額となります。

累積投資契約に基づく収益分配金の再投資の場合は無手数料となります。

申込手数料に関する詳細は、お申込みの販売会社にお問い合わせください。

ニ 申込単位

お申込単位の詳細は、取扱いの販売会社にお問い合わせください。

ホ 照会先

手続き等のご不明な点についての委託会社に対する照会は下記においてできます。

照会先の名称	コールセンター	ホームページ
三井住友DSアセットマネジメント株式会社	0120-88-2976	https://www.smd-am.co.jp

お問い合わせは、午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)までとさせていただきます。

ヘ 申込取扱場所・払込取扱場所

販売会社において申込み・払込みを取り扱います。

ト 払込期日

取得申込者は、申込金額(取得申込受付日の翌営業日の基準価額×申込口数)に申込手数料および当該手数料にかかる消費税等相当額を加算した額を、販売会社の指定の期日までに、指定の方法でお支払いください。

各取得申込みにかかる発行価額の総額は、追加信託が行われる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

2【換金(解約)手続等】

受益者は、自己に帰属する受益権につき、解約請求(一部解約の実行請求)により換金することができます。

お買付けの販売会社にお申し出ください。

解約請求のお申込みに関しては、原則として午後3時30分までに、解約請求のお申込みが行われ販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の解約請求受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、お申込みの販売会社にご確認ください。

また、信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みに制限を設ける場合があります。

解約請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかるファンドの信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引換えに、当該解約請求にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定に従い当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

一部解約金は、解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

一部解約価額は、解約請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額となります。

解約単位の詳細および一部解約価額につきましては、お申込みの販売会社にお問い合わせください。

委託会社は、取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、および既に受け付けた一部解約の実行請求を

取り消すことがあります。この場合、受益者は当該受付中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受け付けたものとして、上記に準じた取扱いとなります。

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

イ 基準価額の算出方法

基準価額とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入れ有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます（基準価額は、便宜上1万口単位で表示される場合があります。）。投資対象とする親投資信託受益証券は、当該親投資信託受益証券の基準価額で評価します。なお、外貨建資産の円換算については、原則として日本における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算するものとします。また、予約為替の評価は、原則として日本における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

<主要投資対象の評価方法>

主要投資対象	有価証券等の評価方法
株式、投資証券、債券等	(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 原則として、金融商品取引所、外国金融商品市場の最終相場で評価します。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 原則として、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く。）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価します。
市場デリバティブ取引	原則として、金融商品取引所、外国金融商品市場の発表する清算値段または最終相場で評価します。

国内で取引される資産については原則として基準価額計算日の値、外国で取引される資産については原則として基準価額計算日に知りうる直近の日の値で評価します。

ロ 基準価額の算出頻度・照会方法

基準価額は、委託会社の営業日において日々算出されます。

基準価額は、販売会社または委託会社にお問い合わせいただけるほか、原則として翌日付の日本経済新聞朝刊の証券欄「オープン基準価格」の紙面に、「ワンプレ」として掲載されます。

委託会社に対する照会は下記においてできます。

照会先の名称	コールセンター	ホームページ
三井住友D Sアセットマネジメント株式会社	0120-88-2976	https://www.smd-am.co.jp

お問い合わせは、午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）までとさせていただきます。

(2)【保管】

ファンドの受益権は社振法の規定の適用を受け、受益権の帰属は振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まるため、原則として受益証券は発行されません。したがって、受益証券の保管に関する該当事項はありません。

（３）【信託期間】

2005年9月30日から下記「（５）その他 イ 信託の終了」に記載された各事由が生じた場合における信託終了の日までとなります。

（４）【計算期間】

毎月21日から翌月20日までとすることを原則としますが、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始するものとします。なお、最終計算期間の終了日は、信託期間の終了日とします。

（５）【その他】

イ 信託の終了

（イ）信託契約の解約

- a. 委託会社は、当ファンドの信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認めるとき、受益権口数が10億口を下回ることとなったとき、その他やむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意の上、当ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- b. 委託会社は、上記aの事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面を当ファンドの知られたる受益者に対して交付します。ただし、当ファンドのすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- c. 上記bの公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
- d. 上記cの一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、信託契約の解約をしません。
- e. 委託会社は、当ファンドの信託契約の解約をしないこととしたときは、解約しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
- f. 上記c～eまでの取扱いは、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記cの一定の期間が一月を下らずにその公告および書面の交付を行うことが困難な場合には適用しません。

（ロ）信託契約に関する監督官庁の命令

委託会社は、監督官庁より当ファンドの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令に従い信託契約を解約し、信託を終了させます。

（ハ）委託会社の登録取消等に伴う取扱い

委託会社が、監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は当ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が当ファンドに関する委託会社の業務を他の委託会社に引継ぐことを命じたときは、当ファンドは、その委託会社と受託会社との間において存続します。

（ニ）受託会社の辞任および解任に伴う取扱い

- a. 受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。また、受託会社はその任務に背いた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託会社または受益者は、裁判所に受託会社の解任を請求することができます。
- b. 上記により受託会社が辞任し、または解任された場合は、委託会社は新受託会社を選任します。

- c. 委託会社が新受託会社を選任できないとき、委託会社は当ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させます。

ロ 収益分配金、償還金の支払い

(イ) 収益分配金

- a. 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
分配対象額が少額の場合等には委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- b. 分配金は、原則として、税金を差し引いた後、毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日(原則として決算日から起算して5営業日目まで)から、販売会社において、決算日の振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払い前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として)に支払われます。
ただし、分配金自動再投資コースにかかる収益分配金は、原則として、税金を差し引いた後、累積投資契約に基づいて、毎計算期間終了日の翌営業日に無手数料で再投資され、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

(ロ) 償還金

償還金は、信託終了後1ヵ月以内の委託会社の指定する日(原則として償還日から起算して5営業日目まで)から、販売会社において、原則として、償還日の振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として)に支払われます。

ハ 信託約款の変更

- (イ) 委託会社は、当ファンドの信託約款を変更することが受益者の利益のため必要と認めるとき、監督官庁より変更の命令を受けたとき、その他やむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意の上、当ファンドの信託約款を変更することができるものとし、あらかじめ、変更しようとする旨および内容を監督官庁に届け出ます。
- (ロ) 委託会社は、上記(イ)の変更事項のうち、その内容が重大なものについては、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を当ファンドの知られたる受益者に交付します。ただし、当ファンドのすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- (ハ) 上記(ロ)の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
- (ニ) 上記(ハ)の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、(イ)の信託約款の変更をしません。
- (ホ) 委託会社は、信託約款の変更をしないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。

ニ 反対者の買取請求権

当ファンドの信託契約の解約または重大な信託約款の変更が行われる場合において、それぞれの手続きにおいて設けられる異議申立期間内に委託会社に異議を述べた受益者は、自己に帰属する受益権を、受託会社に信託財産をもって買い取るよう請求をすることができます。

ホ 販売会社との契約の更改等

委託会社と販売会社との間で締結される販売契約(名称の如何を問わず、ファンドの募集・販売の取扱い、受益者からの一部解約実行請求の受付け、受益者への収益分配金、一部解約金および償還金の支払事務等を規定するもの)は、期間満了の3ヵ月前に当事者のいずれから、何らの意思表示もない場合は、自動的に1年間更新されます。販売契約の内容は、必要に応じて、委託

会社と販売会社との合意により変更されることがあります。

へ 投資顧問会社（運用の委託先）との契約の更改等

委託会社と投資顧問会社との間で締結される投資一任契約（運用委託契約）は、当事者のいずれから何らの意思表示もない場合は、自動的に更新されます。投資一任契約の内容は、必要に応じて、委託会社と投資顧問会社との合意により変更されることがあります。

ト 委託会社の事業の譲渡および承継に伴う取扱い

委託会社の事業の全部または一部の譲渡、もしくは分割承継により、当ファンドに関する事業が譲渡・承継されることがあります。

チ 公告

委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。

<https://www.smd-am.co.jp>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

リ 運用にかかる報告書の開示方法

委託会社は6ヵ月（原則として3月、9月の各決算時までの期間）毎に、投資信託及び投資法人に関する法律の規定に従い、期中の運用経過のほか、信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した運用報告書（全体版）および運用報告書（全体版）の記載事項のうち重要なものを記載した交付運用報告書を作成します。

交付運用報告書は、原則として、あらかじめ受益者が申し出た住所に販売会社から届けられます。なお、運用報告書（全体版）は、委託会社のホームページで閲覧できます。

4【受益者の権利等】

委託会社の指図に基づく行為によりファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドの受益権は、信託の日時を異にすることにより差異が生ずることはありません。

受益者の有する主な権利は次の通りです。

イ 分配金請求権

受益者は、委託会社の決定した収益分配金を持分にに応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、原則として、税金を差し引いた後、毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として決算日から起算して5営業日目まで）から、販売会社において、決算日の振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払い前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）に支払われます。

ただし、分配金自動再投資コースをお申込みの場合の収益分配金は、原則として、税金を差し引いた後、累積投資契約に基づき、毎計算期間終了日の翌営業日に無手数料で再投資され、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

収益分配金は、受益者が、その支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、受益者はその権利を失い、当該金銭は、委託会社に帰属します。

ロ 償還金請求権

受益者は、持分にに応じて償還金を請求する権利を有します。

償還金は、信託終了後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日から起算して5営業日目まで）から、販売会社において、原則として、償還日の振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）に支払われます。

償還金は、受益者がその支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、受益者はその権

利を失い、当該金銭は、委託会社に帰属します。

八 一部解約実行請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託会社に一部解約の実行を請求することができます。詳細は、前記「第2 管理及び運営 2 換金(解約)手続等」の記載をご参照ください。

二 信託約款変更等に対する異議申立権および受益権の買取請求権

委託会社が、当ファンドの解約(監督官庁の命令による解約等の場合を除きます。)または重大な信託約款の変更を行おうとする場合において、当該解約または信託約款変更に関する異議のある受益者は、それぞれの手続きにおいて設けられる異議申立期間中に異議を申し立てることができます。異議を申し立てた受益者の受益権の口数が、受益権の総口数の過半数となる場合は、当該解約または信託約款変更は行われません。

当該解約または信託約款変更が行われる場合において、前述の異議を申し立てた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買い取るべき旨の請求ができます。

ホ 帳簿閲覧・謄写請求権

受益者は委託会社に対し、当該受益者にかかる信託財産に関する書類の閲覧または謄写を請求することができます。

第3【ファンドの経理状況】

1. 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
2. 当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は6ヶ月毎に作成しております。
3. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、特定38期(2024年3月22日から2024年9月20日まで)の財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

【グローバル3資産ファンド】

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	特定37期 (2024年 3月21日現在)	特定38期 (2024年 9月20日現在)
資産の部		
流動資産		
金銭信託	5,221,781	1,542,618
コール・ローン	380,938,907	289,874,809
親投資信託受益証券	19,209,539,719	18,677,343,993
流動資産合計	19,595,700,407	18,968,761,420
資産合計	19,595,700,407	18,968,761,420
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	24,177,492	22,980,577
未払解約金	20,930,042	8,194,278
未払受託者報酬	867,943	877,133
未払委託者報酬	23,435,441	23,682,472
その他未払費用	55,477	55,000
流動負債合計	69,466,395	55,789,460
負債合計	69,466,395	55,789,460
純資産の部		
元本等		
元本	24,177,492,983	22,980,577,655
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 ()	4,651,258,971	4,067,605,695
(分配準備積立金)	845,889,025	949,046,276
元本等合計	19,526,234,012	18,912,971,960
純資産合計	19,526,234,012	18,912,971,960
負債純資産合計	19,595,700,407	18,968,761,420

（ 2 ） 【 損益及び剰余金計算書 】

（ 単位：円 ）

	特定37期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日	特定38期 自 2024年 3月22日 至 2024年 9月20日
営業収益		
受取利息	1,101	179,496
有価証券売買等損益	1,668,881,958	667,804,274
営業収益合計	1,668,883,059	667,983,770
営業費用		
支払利息	35,353	-
受託者報酬	5,275,276	5,363,166
委託者報酬	142,437,725	144,804,392
その他費用	333,881	330,000
営業費用合計	148,082,235	150,497,558
営業利益又は営業損失（ ）	1,520,800,824	517,486,212
経常利益又は経常損失（ ）	1,520,800,824	517,486,212
当期純利益又は当期純損失（ ）	1,520,800,824	517,486,212
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	8,247	994,145
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	6,425,730,483	4,651,258,971
剰余金増加額又は欠損金減少額	409,280,859	211,036,532
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	409,280,859	211,036,532
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	5,728,497	3,360,356
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	5,728,497	3,360,356
分配金	149,873,427	140,514,967
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	4,651,258,971	4,067,605,695

（３）【注記表】

（重要な会計方針の注記）

項目	特定38期	
	自 2024年3月22日 至 2024年9月20日	
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>親投資信託受益証券は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>	
2. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>特定期間の取扱い</p> <p>当特定期間は前期末が休日のため、2024年3月22日から2024年9月20日までとなっております。</p>	

（重要な会計上の見積りに関する注記）

会計上の見積りについて、翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクがある項目を識別していないため、注記を省略しております。

（貸借対照表に関する注記）

項目	特定37期	特定38期
	(2024年3月21日現在)	(2024年9月20日現在)
1. 当特定期間の末日における受益権の総数	24,177,492,983口	22,980,577,655口
2. 「投資信託財産の計算に関する規則」第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 4,651,258,971円	元本の欠損 4,067,605,695円
3. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額 0.8076円 (1万口当たりの純資産額8,076円)	1口当たり純資産額 0.8230円 (1万口当たりの純資産額8,230円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	特定37期	特定38期
	自 2023年9月21日 至 2024年3月21日	自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
1. 委託者報酬	委託者報酬に含まれる、信託財産の運用の指図にかかる権限の全部または一部を委託するために要する費用 15,654,651円	委託者報酬に含まれる、信託財産の運用の指図にかかる権限の全部または一部を委託するために要する費用 16,123,778円

2. 分配金の計算過程	(自2023年9月21日至2023年10月20日) 第217計算期間末における費用控除後の配当等収益(14,905,973円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(21,223,588円)、および分配準備積立金(795,721,633円)より、分配対象収益は831,851,194円(1万口当たり323.62円)であり、うち25,704,531円(1万口当たり10円)を分配金額としております。	(自2024年3月22日至2024年4月22日) 第223計算期間末における費用控除後の配当等収益(17,347,654円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(20,518,101円)、および分配準備積立金(838,232,501円)より、分配対象収益は876,098,256円(1万口当たり365.80円)であり、うち23,950,423円(1万口当たり10円)を分配金額としております。
	(自2023年10月21日至2023年11月20日) 第218計算期間末における費用控除後の配当等収益(31,897,434円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(21,146,684円)、および分配準備積立金(778,613,254円)より、分配対象収益は831,657,372円(1万口当たり326.26円)であり、うち25,490,975円(1万口当たり10円)を分配金額としております。	(自2024年4月23日至2024年5月20日) 第224計算期間末における費用控除後の配当等収益(50,469,501円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(20,433,058円)、および分配準備積立金(824,692,354円)より、分配対象収益は895,594,913円(1万口当たり377.16円)であり、うち23,746,050円(1万口当たり10円)を分配金額としております。
	(自2023年11月21日至2023年12月20日) 第219計算期間末における費用控除後の配当等収益(46,314,463円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(21,003,809円)、および分配準備積立金(775,111,271円)より、分配対象収益は842,429,543円(1万口当たり334.92円)であり、うち25,153,301円(1万口当たり10円)を分配金額としております。	(自2024年5月21日至2024年6月20日) 第225計算期間末における費用控除後の配当等収益(39,639,063円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(20,357,075円)、および分配準備積立金(842,867,318円)より、分配対象収益は902,863,456円(1万口当たり384.25円)であり、うち23,496,679円(1万口当たり10円)を分配金額としております。
	(自2023年12月21日至2024年1月22日) 第220計算期間末における費用控除後の配当等収益(39,520,657円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(20,931,496円)、および分配準備積立金(787,295,959円)より、分配対象収益は847,748,112円(1万口当たり341.04円)であり、うち24,857,839円(1万口当たり10円)を分配金額としております。	(自2024年6月21日至2024年7月22日) 第226計算期間末における費用控除後の配当等収益(90,671,597円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(20,250,645円)、および分配準備積立金(850,218,666円)より、分配対象収益は961,140,908円(1万口当たり413.42円)であり、うち23,248,436円(1万口当たり10円)を分配金額としております。
	(自2024年1月23日至2024年2月20日) 第221計算期間末における費用控除後の配当等収益(42,543,151円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(20,726,795円)、および分配準備積立金(790,626,971円)より、分配対象収益は853,896,917円(1万口当たり348.68円)であり、うち24,489,289円(1万口当たり10円)を分配金額としております。	(自2024年7月23日至2024年8月20日) 第227計算期間末における費用控除後の配当等収益(22,800,063円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(20,229,628円)、および分配準備積立金(911,709,987円)より、分配対象収益は954,739,678円(1万口当たり413.44円)であり、うち23,092,802円(1万口当たり10円)を分配金額としております。

<p>(自2024年2月21日至2024年3月21日)</p> <p>第222計算期間末における費用控除後の配当等収益(71,216,026円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(20,564,051円)、および分配準備積立金(798,850,491円)より、分配対象収益は890,630,568円(1万口当たり368.37円)であり、うち24,177,492円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p>	<p>(自2024年8月21日至2024年9月20日)</p> <p>第228計算期間末における費用控除後の配当等収益(64,936,807円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(20,258,605円)、および分配準備積立金(907,090,046円)より、分配対象収益は992,285,458円(1万口当たり431.79円)であり、うち22,980,577円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p>
---	---

(金融商品に関する注記)

. 金融商品の状況に関する事項

項 目	<p style="text-align: center;">特定38期</p> <p style="text-align: center;">自 2024年3月22日</p> <p style="text-align: center;">至 2024年9月20日</p>
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。</p>
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>(1) 金融商品の内容</p> <p>1) 有価証券</p> <p>当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当特定期間については、親投資信託受益証券を組み入れております。</p> <p>2) デリバティブ取引</p> <p>当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。</p> <p>3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等</p> <p>(2) 金融商品に係るリスク</p> <p>有価証券およびデリバティブ取引等</p> <p>当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。</p>

<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する会議をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用部署に是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用部署は、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。なお、投資信託協会の流動性リスク管理規制に抵触する場合には、流動性リスクを管理する会議で審議の上、流動性リスクの管理責任者が対処方針を決定します。その後、決定した対処方針やその実施等について、リスク管理会議に報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド（外部ファンド）を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する会議にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>
--------------------------	--

・金融商品の時価等に関する事項

項目	<p>特定38期 (2024年9月20日現在)</p>
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	<p>金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券（親投資信託受益証券） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。</p> <p>(2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。</p>

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

特定37期（自 2023年9月21日 至 2024年3月21日）

種 類	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	504,328,773円
合計	504,328,773円

特定38期(自 2024年3月22日 至 2024年9月20日)

種 類	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	199,013,587円
合計	199,013,587円

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

特定38期 自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行われていないため、該当事項はございません。

(その他の注記)

項 目	特定37期 (2024年3月21日現在)	特定38期 (2024年9月20日現在)
期首元本額	25,897,298,093円	24,177,492,983円
期中追加設定元本額	24,252,696円	19,312,000円
期中一部解約元本額	1,744,057,806円	1,216,227,328円

(4)【附属明細表】

有価証券明細表

(a)株式

該当事項はありません。

(b)株式以外の有価証券

(単位：円)

種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受益証券	グローバル・リート・マザーファンド	1,778,597,804	6,474,985,305	
	グローバル好利回り株式マザーファンド	778,314,748	4,127,247,445	
	G 2 0 債券マザーファンド	3,543,952,345	6,182,070,470	
	新興国高配当株式マザーファンド	1,154,997,421	1,893,040,773	
	親投資信託受益証券 小計		18,677,343,993	
合計			18,677,343,993	

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

グローバル3資産ファンドは、「G20 債券マザーファンド」、「グローバル好利回り株式マザーファンド」、「新興国高配当株式マザーファンド」および「グローバル・リート・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券です。

なお、以下に記載した状況は、監査の対象外です。

G20 債券マザーファンド

(1) 貸借対照表

(単位：円)

(2024年9月20日現在)

資産の部	
流動資産	
預金	9,526,490
金銭信託	41,702
コール・ローン	7,836,236
国債証券	5,373,440,776
特殊債券	543,459,109
派生商品評価勘定	12,660,837
未収入金	257,972,439
未収利息	45,448,730
前払費用	18,873,528
流動資産合計	6,269,259,847
資産合計	6,269,259,847
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	21,373,196
未払金	65,838,186
流動負債合計	87,211,382
負債合計	87,211,382
純資産の部	
元本等	
元本	3,543,952,345
剰余金	
剰余金又は欠損金()	2,638,096,120
元本等合計	6,182,048,465
純資産合計	6,182,048,465
負債純資産合計	6,269,259,847

(2) 注記表

(重要な会計方針の注記)

項 目	自 2024年3月22日
	至 2024年9月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、特殊債券は個別法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。

	<p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、わが国における対顧客先物相場の仲値によっております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条に基づいて処理しております。</p>

（重要な会計上の見積りに関する注記）

会計上の見積りについて、翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクがある項目を識別していないため、注記を省略しております。

（貸借対照表に関する注記）

項目	(2024年9月20日現在)
1. 当計算期間の末日における受益権の総数	3,543,952,345口
2. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額 1.7444円 (1万口当たりの純資産額17,444円)

（金融商品に関する注記）

・金融商品の状況に関する事項

項目	自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。</p>
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>(1) 金融商品の内容</p> <p>1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算期間については、国債証券、特殊債券を組み入れております。</p> <p>2) デリバティブ取引 当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。</p> <p>当計算期間については、為替予約取引を行っております。</p>

	<p>3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等</p> <p>(2) 金融商品に係るリスク</p> <p>有価証券およびデリバティブ取引等</p> <p>当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。</p>
<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する会議をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用部署に是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用部署は、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。なお、投資信託協会の流動性リスク管理規制に抵触する場合には、流動性リスクを管理する会議で審議の上、流動性リスクの管理責任者が対処方針を決定します。その後、決定した対処方針やその実施等について、リスク管理会議に報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド(外部ファンド)を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する会議にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>

・金融商品の時価等に関する事項

項目	(2024年9月20日現在)
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額</p>	<p>金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。</p>
<p>2. 時価の算定方法</p>	<p>(1) 有価証券(国債証券、特殊債券)</p> <p>「重要な会計方針の注記」に記載しております。</p> <p>(2) 派生商品評価勘定(デリバティブ取引)</p> <p>デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等</p> <p>これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。
----------------------------	--

(デリバティブ取引に関する注記)

(2024年9月20日現在)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち 1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	アメリカ・ドル	675,068,578	-	670,554,823	4,513,755
	オーストラリア・ドル	80,600,592	-	80,780,655	180,063
	イギリス・ポンド	94,220,841	-	92,429,337	1,791,504
	ノルウェー・クローネ	9,890,328	-	9,473,310	417,018
	スウェーデン・クローナ	10,861,530	-	10,504,500	357,030
	メキシコ・ペソ	62,453,735	-	63,194,305	740,570
	オフショア・人民元	224,411,325	-	222,646,450	1,764,875
	ポーランド・ズロチ	31,820,404	-	29,992,923	1,827,481
	ユーロ	218,030,394	-	221,920,337	3,889,943
	小計	1,407,357,727	-	1,401,496,640	5,861,087
	売建				
	アメリカ・ドル	739,920,317	-	743,370,512	3,450,195
	カナダ・ドル	12,951,081	-	12,053,840	897,241
	オーストラリア・ドル	18,503,973	-	18,864,943	360,970
	イギリス・ポンド	142,932,586	-	142,416,631	515,955
	デンマーク・クローネ	6,805,170	-	6,387,600	417,570
	メキシコ・ペソ	63,667,939	-	63,194,305	473,634
	オフショア・人民元	128,724,925	-	127,946,150	778,775
	南アフリカ・ランド	241,524,738	-	242,852,937	1,328,199
	ユーロ	158,739,923	-	159,535,006	795,083
	小計	1,513,770,652	-	1,516,621,924	2,851,272
合計		2,921,128,379	-	2,918,118,564	8,712,359

(注) 1. 時価の算定方法

為替予約取引の時価の算定方法については以下のように評価しております。

1) 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている対顧客先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い受渡日として、発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2) 計算期間末日において対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値で評価しております。

3) 上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認められた価額で評価しております。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行われていないため、該当事項はございません。

(その他の注記)

(2024年9月20日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	3,655,076,748円
同期中における追加設定元本額	-円
同期中における一部解約元本額	111,124,403円
2024年9月20日現在の元本の内訳	
グローバル3資産ファンド	3,543,952,345円
合計	3,543,952,345円

(3) 附属明細表

有価証券明細表

(a) 株式

該当事項はありません。

(b) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	アメリカ・ドル	T 1.125 05/15/40	510,000.00	339,756.90	
		T 1.5 08/15/26	180,000.00	173,115.00	
		T 1.875 11/15/51	2,060,000.00	1,303,300.20	
		T 2 02/15/50	200,000.00	132,148.00	
		T 2 11/15/41	1,510,000.00	1,118,925.10	
		T 2.375 03/31/29	570,000.00	543,158.70	
		T 2.375 05/15/51	500,000.00	357,645.00	
		T 2.875 04/30/29	950,000.00	924,369.00	
		T 3.75 08/15/41	30,000.00	29,164.20	
		T 3.875 05/15/43	760,000.00	737,253.20	

	T 4.125 07/31/31	1,900,000.00	1,960,857.00	
	T 4.25 01/31/26	3,090,000.00	3,109,899.60	
	T 4.375 02/15/38	50,000.00	53,093.50	
	T 4.375 05/15/34	2,718,000.00	2,861,945.28	
	T 6.125 11/15/27	150,000.00	161,871.00	
	アメリカ・ドル小計	15,178,000.00	13,806,501.68 (1,971,016,180)	
カナダ・ドル	CAN 1.25 06/01/30	910,000.00	838,373.90	
	CAN 1.75 12/01/53	100,000.00	73,601.00	
	CAN 2.75 09/01/27	250,000.00	250,010.00	
	カナダ・ドル小計	1,260,000.00	1,161,984.90 (122,298,911)	
オーストラリア・ドル	ACGB 0.25 11/21/25	200,000.00	191,998.00	
	ACGB 1 11/21/31	300,000.00	247,971.00	
	ACGB 3.75 05/21/34	300,000.00	295,770.00	
	オーストラリア・ドル小計	800,000.00	735,739.00 (71,484,401)	
シンガポール・ドル	SIGB 2.375 06/01/25	210,000.00	209,449.80	
	シンガポール・ドル小計	210,000.00	209,449.80 (23,137,919)	
ニュージーランド・ドル	NZGB 1.5 05/15/31	200,000.00	171,464.00	
	ニュージーランド・ドル小計	200,000.00	171,464.00 (15,267,155)	
イギリス・ポンド	UK TSY GILT 1.125 01/31/39	400,000.00	271,040.00	
	UKT 0.5 01/31/29	100,000.00	87,481.00	
	UKT 1 01/31/32	100,000.00	82,556.00	
	UKT 1.25 07/31/51	250,000.00	126,600.00	
	UKT 4.125 01/29/27	100,000.00	100,463.00	
	UKT 4.5 12/07/42	400,000.00	409,480.00	
	UKT 4.625 01/31/34	550,000.00	582,697.50	
	UKT 6 12/07/28	150,000.00	163,989.00	
	イギリス・ポンド小計	2,050,000.00	1,824,306.50 (345,833,783)	
イスラエル・シュケル	ILGOV 1 03/31/30	400,000.00	328,948.00	
	イスラエル・シュケル小計	400,000.00	328,948.00 (12,503,313)	
デンマーク・クローネ	DGB 1.75 11/15/25	1,000,000.00	994,360.00	

デンマーク・クローネ小計		1,000,000.00	994,360.00 (21,239,530)	
メキシコ・ペソ	MBONO 7.5 05/26/33	1,000,000.00	903,440.00	
	MBONO 7.5 06/03/27	4,000,000.00	3,851,160.00	
	MBONO 8.5 05/31/29	1,000,000.00	978,100.00	
メキシコ・ペソ小計		6,000,000.00	5,732,700.00 (42,371,532)	
オフショア・人民元	CGB 2.67 11/25/33	6,500,000.00	6,824,025.00	
	CGB 2.68 05/21/30	2,000,000.00	2,088,700.00	
	CGB 2.69 08/15/32	6,400,000.00	6,722,688.00	
	CGB 2.75 02/17/32	3,000,000.00	3,163,680.00	
	CGB 2.76 05/15/32	2,000,000.00	2,113,180.00	
	CGB 2.79 12/15/29	500,000.00	525,340.00	
	CGB 3.39 03/16/50	3,000,000.00	3,670,260.00	
オフショア・人民元小計		23,400,000.00	25,107,873.00 (506,802,417)	
マレーシア・リンギット	MGS 2.632 04/15/31	1,000,000.00	939,740.00	
マレーシア・リンギット小計		1,000,000.00	939,740.00 (31,840,271)	
南アフリカ・ランド	SAGB 8.875 02/28/35	32,300,000.00	29,706,310.00	
南アフリカ・ランド小計		32,300,000.00	29,706,310.00 (241,809,363)	
ユーロ	BGB 1 06/22/31	540,000.00	489,569.40	
	BTPS 0.45 02/15/29	200,000.00	181,088.00	
	BTPS 2.5 12/01/32	300,000.00	284,466.00	
	BTPS 3.25 03/01/38	100,000.00	94,756.00	
	BTPS 4 04/30/35	50,000.00	52,321.50	
	BTPS 4 11/15/30	400,000.00	421,508.00	
	BTPS 4.45 09/01/43	200,000.00	211,512.00	
	BTPS 4.5 10/01/53	340,000.00	358,247.80	
	DBR 0 08/15/52	350,000.00	177,656.50	
	DBR 1 05/15/38	650,000.00	545,831.00	
	DBR 2.3 02/15/33	500,000.00	507,735.00	
	DBR 2.4 11/15/30	450,000.00	458,667.00	
	DBR 2.5 07/04/44	130,000.00	129,925.90	
	FRTR 0.5 06/25/44	250,000.00	148,782.50	
	FRTR 0.75 02/25/28	1,100,000.00	1,039,599.00	
	FRTR 0.75 05/25/52	400,000.00	210,364.00	
	FRTR 1.25 05/25/38	150,000.00	118,320.00	
	FRTR 2 11/25/32	170,000.00	160,592.20	
	FRTR 3 05/25/33	50,000.00	50,730.00	

		FRTR 4.5 04/25/41	400,000.00	462,672.00	
		OBL 2.2 04/13/28	1,120,000.00	1,126,585.60	
		SPGB 0 01/31/28	1,200,000.00	1,107,360.00	
		SPGB 0.5 04/30/30	1,200,000.00	1,073,640.00	
		SPGB 2.55 10/31/32	300,000.00	295,149.00	
		SPGB 4.2 01/31/37	300,000.00	331,926.00	
		ユーロ小計	10,850,000.00	10,039,004.40 (1,599,313,791)	
	日本・円	1 3 4 0 年国債	46,000,000	26,762,800	
		7 3 3 0 年国債	127,000,000	91,513,660	
		1 8 7 2 0 年国債	267,000,000	250,245,750	
		日本・円小計	440,000,000	368,522,210	
		国債証券合計		5,373,440,776 (5,004,918,566)	
特殊債券	トルコ・リラ	EBRD 0 01/26/26	23,000,000.00	14,733,570.00	
		EBRD 0 03/25/25	18,000,000.00	14,979,060.00	
		トルコ・リラ小計	41,000,000.00	29,712,630.00 (124,543,460)	
	インド・ルピー	EBRD 5.25 01/12/27	40,000,000.00	38,764,000.00	
		IADB 7 01/25/29	34,000,000.00	34,334,220.00	
		IADB 7.35 10/06/30	100,000,000.00	102,820,000.00	
		IBRD 6.5 04/17/30	51,000,000.00	50,612,910.00	
		IBRD 6.75 07/13/29	17,000,000.00	17,024,480.00	
		インド・ルピー小計	242,000,000.00	243,555,610.00 (418,915,649)	
		特殊債券合計		543,459,109 (543,459,109)	
		合計		5,916,899,885 (5,548,377,675)	

(注) 金額欄の()内は、外貨建有価証券にかかるものの内書きであり、また邦貨換算金額で表示しております。

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	国債証券 15銘柄	31.9%	35.5%
カナダ・ドル	国債証券 3銘柄	2.0%	2.2%
オーストラリア・ドル	国債証券 3銘柄	1.2%	1.3%
シンガポール・ドル	国債証券 1銘柄	0.4%	0.4%
ニュージーランド・ドル	国債証券 1銘柄	0.2%	0.3%
イギリス・ポンド	国債証券 8銘柄	5.6%	6.2%
イスラエル・シケル	国債証券 1銘柄	0.2%	0.2%
トルコ・リラ	特殊債券 2銘柄	2.0%	2.2%
デンマーク・クローネ	国債証券 1銘柄	0.3%	0.4%
メキシコ・ペソ	国債証券 3銘柄	0.7%	0.8%
インド・ルピー	特殊債券 5銘柄	6.8%	7.6%
オフショア・人民元	国債証券 7銘柄	8.2%	9.1%
マレーシア・リングギット	国債証券 1銘柄	0.5%	0.6%
南アフリカ・ランド	国債証券 1銘柄	3.9%	4.4%

ユーロ	国債証券	25銘柄	25.9%	28.8%
-----	------	------	-------	-------

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引に関する注記）」に記載しております。

グローバル好利回り株式マザーファンド

(1) 貸借対照表

(単位：円)

(2024年9月20日現在)

資産の部		
流動資産		
預金		126,758,501
金銭信託		203,345
コール・ローン		38,210,766
株式		3,952,320,134
未収配当金		9,775,959
流動資産合計		4,127,268,705
資産合計		4,127,268,705
負債の部		
流動負債		
流動負債合計		-
負債合計		-
純資産の部		
元本等		
元本		778,314,748
剰余金		
剰余金又は欠損金()		3,348,953,957
元本等合計		4,127,268,705
純資産合計		4,127,268,705
負債純資産合計		4,127,268,705

(2) 注記表

(重要な会計方針の注記)

項目	自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p>

	(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、わが国における対顧客先物相場の仲値によっております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条に基づいて処理しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

会計上の見積りについて、翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクがある項目を識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

項 目	(2024年9月20日現在)
1. 当計算期間の末日における受益権の総数	778,314,748口
2. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額 5.3028円 (1万口当たりの純資産額53,028円)

(金融商品に関する注記)

. 金融商品の状況に関する事項

項 目	自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	(1) 金融商品の内容 1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算期間については、株式を組み入れております。 2) デリバティブ取引 当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。 当計算期間については、為替予約取引を行っております。 3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 (2) 金融商品に係るリスク 有価証券およびデリバティブ取引等 当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。

<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する会議をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用部署に是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用部署は、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。なお、投資信託協会の流動性リスク管理規制に抵触する場合には、流動性リスクを管理する会議で審議の上、流動性リスクの管理責任者が対処方針を決定します。その後、決定した対処方針やその実施等について、リスク管理会議に報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド(外部ファンド)を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する会議にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>
--------------------------	--

・金融商品の時価等に関する事項

項目	(2024年9月20日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券(株式) 「重要な会計方針の注記」に記載しております。</p> <p>(2) 派生商品評価勘定(デリバティブ取引) デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行われていないため、該当事項はございません。

(その他の注記)

(2024年9月20日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	843,985,208円
同期中における追加設定元本額	-円
同期中における一部解約元本額	65,670,460円
2024年9月20日現在の元本の内訳	
グローバル3資産ファンド	778,314,748円
合 計	778,314,748円

(3) 附属明細表

有価証券明細表

(a) 株式

通貨	銘柄	株数	評価額		備考
			単価	金額	
日本・円	大和ハウス工業	18,900	4,579.000	86,543,100	
	日本たばこ産業	14,700	4,094.000	60,181,800	
	B I P R O G Y	4,800	4,895.000	23,496,000	
	三井物産	22,000	3,051.000	67,122,000	
	オリックス	26,500	3,397.000	90,020,500	
日本・円小計		86,900		327,363,400	
アメリカ・ドル	CHEVRON CORP	6,991	144.990	1,013,625.09	
	EXXON MOBIL CORP	10,000	116.000	1,160,000.00	
	WILLIAMS COS INC	20,000	44.890	897,800.00	
	BOOZ ALLEN HAMILTON HOLDINGS	2,630	156.160	410,700.80	
	MCDONALD'S CORP	1,000	293.850	293,850.00	
	HOME DEPOT INC	2,200	390.340	858,748.00	
	PEPSICO INC	4,500	174.660	785,970.00	
	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	5,000	119.740	598,700.00	
	PROCTER & GAMBLE CO/THE	1,602	171.540	274,807.08	
	UNITEDHEALTH GROUP INC	500	577.070	288,535.00	
	MERCK & CO. INC.	8,600	117.230	1,008,178.00	
	JPMORGAN CHASE & CO	4,300	210.480	905,064.00	
	ARES MANAGEMENT CORP - A	4,000	156.510	626,040.00	
	MICROSOFT CORP	669	438.690	293,483.61	
	ANALOG DEVICES INC	1,800	233.450	420,210.00	
BROADCOM INC	2,500	167.420	418,550.00		
TEXAS INSTRUMENTS INC	1,500	207.600	311,400.00		

	AMERICAN WATER WORKS CO INC	3,468	149.080	517,009.44	
	NEXTERA ENERGY INC	9,428	82.290	775,830.12	
	アメリカ・ドル小計	90,688		11,858,501.14 (1,692,919,623)	
オーストラリア・ドル	BHP GROUP LTD	10,000	40.190	401,900.00	
	オーストラリア・ドル小計	10,000		401,900.00 (39,048,604)	
香港・ドル	TECHTRONIC INDUSTRIES CO LTD	50,000	111.400	5,570,000.00	
	SITC INTERNATIONAL HOLDINGS	284,000	19.440	5,520,960.00	
	AIA GROUP LTD	72,000	56.450	4,064,400.00	
	香港・ドル小計	406,000		15,155,360.00 (277,646,195)	
シンガポール・ドル	DBS GROUP HOLDINGS LTD	20,000	38.500	770,000.00	
	シンガポール・ドル小計	20,000		770,000.00 (85,061,900)	
イギリス・ポンド	ASHTREAD GROUP PLC	9,967	57.800	576,092.60	
	ASTRAZENECA PLC	3,854	118.980	458,548.92	
	イギリス・ポンド小計	13,821		1,034,641.52 (196,136,993)	
スイス・フラン	SIKA AG-REG	2,424	276.200	669,508.80	
	PARTNERS GROUP HOLDING AG	466	1,229.000	572,714.00	
	スイス・フラン小計	2,890		1,242,222.80 (209,326,964)	
スウェーデン・クローナ	ASSA ABLOY AB-B	10,000	338.000	3,380,000.00	
	スウェーデン・クローナ小計	10,000		3,380,000.00 (47,489,000)	
ユーロ	TOTALENERGIES SE	15,213	62.650	953,094.45	
	AIR LIQUIDE SA	2,200	171.060	376,332.00	
	SCHNEIDER ELECTRIC SE	3,800	238.400	905,920.00	
	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	336	614.000	206,304.00	
	L'OREAL	1,083	379.000	410,457.00	
	BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTA	61,000	9.772	596,092.00	
	BAWAG GROUP AG	9,700	71.150	690,155.00	
	ING GROEP NV	48,617	16.682	811,028.79	
	ASML HOLDING NV	300	747.900	224,370.00	
	DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	38,423	26.020	999,766.46	
	IBERDROLA SA	44,000	13.385	588,940.00	
	ユーロ小計	224,672		6,762,459.70 (1,077,327,455)	
	合計	864,971		3,952,320,134	

(3,624,956,734)

(注) 金額欄の()内は、外貨建保有価証券にかかるものの内書きであり、また邦貨換算金額で表示しております。

通貨	銘柄数		組入株式時価比率	合計金額に対する比率
アメリカ・ドル	株式	19銘柄	41.0%	46.7%
オーストラリア・ドル	株式	1銘柄	0.9%	1.1%
香港・ドル	株式	3銘柄	6.7%	7.7%
シンガポール・ドル	株式	1銘柄	2.1%	2.3%
イギリス・ポンド	株式	2銘柄	4.8%	5.4%
スイス・フラン	株式	2銘柄	5.1%	5.8%
スウェーデン・クローナ	株式	1銘柄	1.2%	1.3%
ユーロ	株式	11銘柄	26.1%	29.7%

(b) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

新興国高配当株式マザーファンド

(1) 貸借対照表

(単位：円)

(2024年9月20日現在)

資産の部		
流動資産		
預金		78,333,080
金銭信託		73,592
コール・ローン		13,828,757
株式		1,746,722,176
投資証券		43,271,189
未収入金		37,567,408
未収配当金		5,506,602
流動資産合計		1,925,302,804
資産合計		1,925,302,804
負債の部		
流動負債		
未払金		32,310,342
流動負債合計		32,310,342
負債合計		32,310,342
純資産の部		
元本等		
元本		1,154,997,421
剰余金		
剰余金又は欠損金()		737,995,041
元本等合計		1,892,992,462
純資産合計		1,892,992,462
負債純資産合計		1,925,302,804

(2) 注記表

(重要な会計方針の注記)

項目	自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式、投資証券は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、わが国における対顧客先物相場の仲値によっております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条に基づいて処理しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

会計上の見積りについて、翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクがある項目を識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	(2024年9月20日現在)
1. 当計算期間の末日における受益権の総数	1,154,997,421口
2. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額 1.6390円 (1万口当たりの純資産額16,390円)

(金融商品に関する注記)

. 金融商品の状況に関する事項

項目	自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	(1) 金融商品の内容 1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算期間については、株式、投資証券を組み入れております。

	<p>2) デリバティブ取引</p> <p>当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。</p> <p>当計算期間については、為替予約取引を行っております。</p> <p>3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等</p> <p>(2) 金融商品に係るリスク</p> <p>有価証券およびデリバティブ取引等</p> <p>当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。</p>
<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する会議をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用部署に是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用部署は、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。なお、投資信託協会の流動性リスク管理規制に抵触する場合には、流動性リスクを管理する会議で審議の上、流動性リスクの管理責任者が対処方針を決定します。その後、決定した対処方針やその実施等について、リスク管理会議に報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド（外部ファンド）を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する会議にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>

金融商品の時価等に関する事項

項目	(2024年9月20日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券（株式、投資証券）</p> <p>「重要な会計方針の注記」に記載しております。</p> <p>(2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引）</p> <p>デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p>

	(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行われていないため、該当事項はございません。

(その他の注記)

(2024年9月20日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	1,212,107,644円
同期中における追加設定元本額	-円
同期中における一部解約元本額	57,110,223円
2024年9月20日現在の元本の内訳	
グローバル3資産ファンド	1,154,997,421円
合計	1,154,997,421円

(3) 附属明細表

有価証券明細表

(a) 株式

通貨	銘柄	株数	評価額		備考
			単価	金額	
アメリカ・ドル	PETROLEO BRASILEIRO-SPON ADR	16,000	14.640	234,240.00	
	COPA HOLDINGS SA-CLASS A	1,000	91.740	91,740.00	
	COCA-COLA FEMSA SAB-SP ADR	2,800	91.700	256,760.00	
	BANCO DE CHILE-ADR	2,195	24.560	53,909.20	
	BANCO SANTANDER-CHILE-ADR	2,469	20.290	50,096.01	
	ITAU UNIBANCO H-SPON PRF ADR	55,000	6.720	369,600.00	
	AUTOHOME INC-ADR	3,000	27.990	83,970.00	
アメリカ・ドル小計		82,464		1,140,315.21 (162,791,398)	
香港・ドル	CHINA COMMUNICATIONS SERVI-H	630,000	3.790	2,387,700.00	
	CHINA STATE CONSTRUCTION INT	120,000	10.920	1,310,400.00	
	CHINA MERCHANTS PORT HOLDING	60,000	12.200	732,000.00	

	SINOTRANS LIMITED-H	200,000	3.430	686,000.00	
	BOSIDENG INTL HLDGS LTD	220,000	3.650	803,000.00	
	TOPSPORTS INTERNATIONAL HOLD	120,000	2.360	283,200.00	
	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	270,000	5.560	1,501,200.00	
	CHINA MERCHANTS BANK-H	89,500	30.400	2,720,800.00	
	FAR EAST HORIZON LTD	200,000	5.450	1,090,000.00	
	CHINA PACIFIC INSURANCE GR-H	70,000	21.100	1,477,000.00	
	GUANGDONG INVESTMENT LTD	160,000	4.630	740,800.00	
	CHINA RESOURCES LAND LTD	78,000	20.800	1,622,400.00	
	香港・ドル小計	2,217,500		15,354,500.00 (281,294,440)	
台湾・ドル	ACTER GROUP CORP LTD	24,000	329.000	7,896,000.00	
	UNITED INTEGRATED SERVICES	20,000	323.500	6,470,000.00	
	POYA INTERNATIONAL CO LTD	5,000	538.000	2,690,000.00	
	CTBC FINANCIAL HOLDING CO LT	90,000	33.500	3,015,000.00	
	CHAILEASE HOLDING CO LTD	38,862	145.000	5,634,990.00	
	HON HAI PRECISION INDUSTRY	124,000	176.500	21,886,000.00	
	LITE-ON TECHNOLOGY CORP	30,000	100.500	3,015,000.00	
	TRIPOD TECHNOLOGY CORP	20,000	197.000	3,940,000.00	
	ASE TECHNOLOGY HOLDING CO LT	60,000	152.000	9,120,000.00	
	MEDIATEK INC	17,000	1,120.000	19,040,000.00	
	NOVATEK MICROELECTRONICS COR	12,000	506.000	6,072,000.00	
	UNITED MICROELECTRONICS CORP	70,000	53.700	3,759,000.00	
	台湾・ドル小計	510,862		92,537,990.00 (413,265,410)	
トルコ・リラ	FORD OTOMOTIV SANAYI AS	3,966	926.500	3,674,499.00	
	トルコ・リラ小計	3,966		3,674,499.00 (15,402,030)	
メキシコ・ペソ	WALMART DE MEXICO SAB DE CV	81,922	61.240	5,016,903.28	
	メキシコ・ペソ小計	81,922		5,016,903.28 (37,080,936)	
フィリピン・ペソ	INTL CONTAINER TERM SVCS INC	30,000	402.800	12,084,000.00	
	フィリピン・ペソ小計	30,000		12,084,000.00 (31,020,835)	
インド・ルピー	ITC LTD	46,000	508.250	23,379,500.00	
	HCL TECHNOLOGIES LTD	5,000	1,736.500	8,682,500.00	
	TATA CONSULTANCY SVCS LTD	2,000	4,296.150	8,592,300.00	
	インド・ルピー小計	53,000		40,654,300.00 (69,925,396)	
インドネシア・ルピア	AKR CORPORINDO TBK PT	2,000,000	1,470.000	2,940,000,000.00	
	BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	798,800	5,400.000	4,313,520,000.00	
	TELKOM INDONESIA PERSERO TBK	1,860,000	3,140.000	5,840,400,000.00	

インドネシア・ルピア小計		4,658,800		13,093,920,000.00 (123,082,848)	
チェコ・ コルナ	PHILIP MORRIS CR AS	133	15,200.000	2,021,600.00	
チェコ・コルナ小計		133		2,021,600.00 (12,829,680)	
韓国・ウォ ン	LG CORP	2,000	84,600.000	169,200,000.00	
	HYUNDAI MOTOR CO	600	246,000.000	147,600,000.00	
	KIA CORP	2,000	103,500.000	207,000,000.00	
	KB FINANCIAL GROUP INC	2,200	82,500.000	181,500,000.00	
	MACQUARIE KOREA INFRA FUND	71,700	11,810.000	846,777,000.00	
	MACQUARIE KOREA INFRA-RIGHTS	7,098	187.000	1,327,326.00	
	SAMSUNG ELECTRONICS-PREF	6,000	52,500.000	315,000,000.00	
	SK TELECOM	9,000	58,400.000	525,600,000.00	
	CHEIL WORLDWIDE INC	9,000	18,360.000	165,240,000.00	
韓国・ウォン小計		109,598		2,559,244,326.00 (274,862,841)	
オフショ ア・人民 元	MIDEA GROUP CO LTD-A	20,000	65.280	1,305,600.00	
オフショア・人民元小計		20,000		1,305,600.00 (26,353,536)	
ロシア・ ルーブル	MOBILE TELESYSTEMS PUBLIC JO	19,428	0.000	-	
ロシア・ルーブル小計		19,428		- (-)	
マレーシ ア・リン ギット	BERMAZ AUTO BHD	400,000	2.280	912,000.00	
	MALAYAN BANKING BHD	60,000	10.640	638,400.00	
	UCHI TECHNOLOGIES BHD	351,900	3.910	1,375,929.00	
マレーシア・リングット小計		811,900		2,926,329.00 (99,149,879)	
南アフリ カ・ランド	BIDVEST GROUP LTD	1,617	281.880	455,799.96	
	BID CORP LTD	12,318	444.020	5,469,438.36	
	MTN GROUP LTD	9,315	95.480	889,396.20	
南アフリカ・ランド小計		23,250		6,814,634.52 (55,471,125)	
タイ・パー ツ	PTT PCL-NVDR	90,000	33.250	2,992,500.00	
	TISCO FINANCIAL GROUP-NVDR	130,200	97.500	12,694,500.00	
	WHA CORP PCL-NVDR	1,000,000	5.600	5,600,000.00	
タイ・パーツ小計		1,220,200		21,287,000.00 (91,746,970)	
ユーロ	CTP NV	20,000	16.460	329,200.00	
ユーロ小計		20,000		329,200.00 (52,444,852)	
合 計		9,863,023		1,746,722,176 (1,746,722,176)	

(注)金額欄の()内は、外貨建有価証券にかかるものの内書きであり、また邦貨換算金額で表示しております。

通貨	銘柄数		組入株式時価比率	合計金額に対する比率
アメリカ・ドル	株式	7銘柄	8.6%	9.3%
香港・ドル	株式	12銘柄	14.9%	16.1%
台湾・ドル	株式	12銘柄	21.8%	23.7%
トルコ・リラ	株式	1銘柄	0.8%	0.9%
メキシコ・ペソ	株式	1銘柄	2.0%	2.1%
フィリピン・ペソ	株式	1銘柄	1.6%	1.8%
インド・ルピー	株式	3銘柄	3.7%	4.0%
インドネシア・ルピア	株式	3銘柄	6.5%	7.0%
チェコ・コルナ	株式	1銘柄	0.7%	0.7%
韓国・ウォン	株式	9銘柄	14.5%	15.7%
オフショア・人民元	株式	1銘柄	1.4%	1.5%
ロシア・ルーブル	株式	1銘柄	-	-
マレーシア・リンギット	株式	3銘柄	5.2%	5.7%
南アフリカ・ランド	株式	3銘柄	2.9%	3.2%
タイ・バーツ	株式	3銘柄	4.8%	5.3%
ユーロ	株式	1銘柄	2.8%	3.0%

(b)株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資証券	メキシコ・ペソ	TRUST FIBRA UNO	253,000.00	5,854,420.00	
		メキシコ・ペソ小計	253,000.00	5,854,420.00 (43,271,189)	
投資証券合計				43,271,189 (43,271,189)	
合計				43,271,189 (43,271,189)	

(注)金額欄の()内は、外貨建有価証券にかかるものの内書きであり、また邦貨換算金額で表示しております。

通貨	銘柄数		組入投資証券時価比率	合計金額に対する比率
メキシコ・ペソ	投資証券	1銘柄	2.3%	100.0%

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

グローバル・リート・マザーファンド

(1)貸借対照表

(単位：円)

(2024年9月20日現在)

資産の部

流動資産

預金	180,731,813
金銭信託	4,303,748
コール・ローン	808,721,215
投資証券	39,622,378,578
派生商品評価勘定	9,586
未収入金	3,402,258
未収配当金	245,827,496
流動資産合計	40,865,374,694
資産合計	40,865,374,694
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	122,731
流動負債合計	122,731
負債合計	122,731
純資産の部	
元本等	
元本	11,225,054,428
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	29,640,197,535
元本等合計	40,865,251,963
純資産合計	40,865,251,963
負債純資産合計	40,865,374,694

(2) 注記表

(重要な会計方針の注記)

項目	自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資証券は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、わが国における対顧客先物相場の仲値によっております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建資産等の会計処理</p> <p>「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条に基づいて処理しております。</p>

(重要な会計上の見積りに関する注記)

会計上の見積りについて、翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクがある項目を識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	(2024年9月20日現在)
1. 当計算期間の末日における受益権の総数	11,225,054,428口
2. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額 3.6405円 (1万口当たりの純資産額36,405円)

(金融商品に関する注記)

. 金融商品の状況に関する事項

項目	自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	(1) 金融商品の内容 1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算期間については、投資証券を組み入れております。 2) デリバティブ取引 当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。 当計算期間については、為替予約取引を行っております。 3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 (2) 金融商品に係るリスク 有価証券およびデリバティブ取引等 当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。

<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する会議をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用部署に是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用部署は、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。なお、投資信託協会の流動性リスク管理規制に抵触する場合には、流動性リスクを管理する会議で審議の上、流動性リスクの管理責任者が対処方針を決定します。その後、決定した対処方針やその実施等について、リスク管理会議に報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド(外部ファンド)を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する会議にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>
--------------------------	--

・金融商品の時価等に関する事項

項目	(2024年9月20日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券(投資証券) 「重要な会計方針の注記」に記載しております。</p> <p>(2) 派生商品評価勘定(デリバティブ取引) デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

(2024年9月20日現在)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(単位:円)

区 分	種 類	契 約 額 等		時 価	評 価 損 益
			う ち 1 年 超		
市場取引以外 の取引	為替予約取引				
	買建				
	シンガポール・ドル	59,178,840	-	59,056,109	122,731
	小計	59,178,840	-	59,056,109	122,731
	売建				
	ユーロ	59,178,840	-	59,169,254	9,586
	小計	59,178,840	-	59,169,254	9,586
	合 計	118,357,680	-	118,225,363	113,145

(注) 1. 時価の算定方法

為替予約取引の時価の算定方法については以下のように評価しております。

- 1) 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている対顧客先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い受渡日として、発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

- 2) 計算期間末日において対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値で評価しております。

- 3) 上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認められた価額で評価しております。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

自 2024年3月22日 至 2024年9月20日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行われていないため、該当事項はございません。

(その他の注記)

(2024年9月20日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	12,404,461,366円
同期中における追加設定元本額	-円
同期中における一部解約元本額	1,179,406,938円
2024年9月20日現在の元本の内訳	
三井住友・グローバル・リート・オープン	7,965,155,823円
三井住友・グローバル・リート・オープン(3カ月決算型)	964,624,214円
グローバル3資産ファンド	1,778,597,804円

三井住友・グローバル・リート・オープン(1年決算型)	222,193,344円
グローバル不動産投信(隔月決算型)	180,778,664円
DCグローバル・リート・オープン	113,704,579円
合計	11,225,054,428円

(3) 附属明細表

有価証券明細表

(a) 株式

該当事項はありません。

(b) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資証券	アメリカ・ドル	AGREE REALTY CORP	108,411.00	8,036,507.43	
		AMERICAN HOMES 4 RENT- A	65,238.00	2,597,777.16	
		BXP INC	110,241.00	9,073,936.71	
		CARETRUST REIT INC	222,673.00	6,802,660.15	
		DIGITAL CORE REIT MANAGEMENT	3,278,300.00	2,048,937.50	
		DIGITAL REALTY TRUST INC	16,311.00	2,591,817.90	
		EQUITY RESIDENTIAL	21,984.00	1,694,087.04	
		EXTRA SPACE STORAGE INC	11,274.00	2,030,334.66	
		FEDERAL REALTY INVS TRUST	56,639.00	6,469,306.58	
		HEALTHPEAK PROPERTIES INC	124,553.00	2,727,710.70	
		KIMCO REALTY CORP	94,039.00	2,185,466.36	
		PUBLIC STORAGE	47,272.00	16,952,684.64	
		REALTY INCOME CORP	238,099.00	14,452,609.30	
		REGENCY CENTERS CORP	53,300.00	3,844,529.00	
		SABRA HEALTH CARE REIT INC	409,764.00	7,523,267.04	
		SIMON PROPERTY GROUP INC	41,462.00	6,926,641.72	
		UDR INC	139,135.00	6,421,080.25	
		VENTAS INC	103,204.00	6,419,288.80	
		VICI PROPERTIES INC	363,090.00	11,912,982.90	
		VORNADO REALTY TRUST	38,843.00	1,514,488.57	
WELLTOWER INC	30,418.00	3,814,113.02			
		アメリカ・ドル小計	5,574,250.00	126,040,227.43 (17,993,502,868)	
カナダ・ドル	カナダ・ドル	DREAM INDUSTRIAL REAL ESTATE	506,205.00	7,385,530.95	
		GRANITE REAL ESTATE INVESTME	46,445.00	3,776,442.95	
		RIOCAN REAL ESTATE INVST TR	198,918.00	4,089,754.08	
		カナダ・ドル小計	751,568.00	15,251,727.98 (1,605,244,370)	
オーストラリア・ドル	オーストラリア・ドル	CHARTER HALL GROUP	179,821.00	2,860,952.11	
		CHARTER HALL LONG WALE REIT	752,278.00	3,054,248.68	
		GOODMAN GROUP	118,858.00	4,338,317.00	
		MIRVAC GROUP	2,928,816.00	6,677,700.48	
		SCENTRE GROUP	2,781,627.00	10,653,631.41	

	STOCKLAND	1,535,226.00	8,198,106.84	
	オーストラリア・ドル小計	8,296,626.00	35,782,956.52 (3,476,672,055)	
香港・ドル	LINK REIT	1,892,760.00	73,533,726.00	
	香港・ドル小計	1,892,760.00	73,533,726.00 (1,347,137,860)	
シンガポール・ドル	CAPITALAND INTEGRATED COMMER	4,669,300.00	10,085,688.00	
	FRASERS CENTREPOINT TRUST	2,129,900.00	5,005,265.00	
	MAPLETREE LOGISTICS TRUST	4,745,521.00	6,975,915.87	
	シンガポール・ドル小計	11,544,721.00	22,066,868.87 (2,437,727,004)	
イギリス・ポンド	BRITISH LAND CO PLC	997,888.00	4,578,310.14	
	GREAT PORTLAND ESTATES PLC	408,582.00	1,513,796.31	
	LAND SECURITIES GROUP PLC	782,115.00	5,224,528.20	
	SHAFTESBURY CAPITAL PLC	1,013,891.00	1,560,378.24	
	TRITAX BIG BOX REIT PLC	2,401,170.00	3,913,907.10	
	UNITE GROUP PLC/THE	204,281.00	1,963,140.41	
	イギリス・ポンド小計	5,807,927.00	18,754,060.40 (3,555,207,230)	
ユーロ	GECINA SA	18,029.00	1,934,511.70	
	INMOBILIARIA COLONIAL SOCIMI	541,630.00	3,501,637.95	
	KLEPIERRE	221,303.00	6,484,177.90	
	MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	359,744.00	4,144,250.88	
	ユーロ小計	1,140,706.00	16,064,578.43 (2,559,247,991)	
日本・円	G L P 投資法人	5,557	748,527,900	
	コンフォリア・レジデンシャル投資法人	985	322,095,000	
	日本プロロジスリート投資法人	1,912	496,164,000	
	日本リート投資法人	828	260,820,000	
	野村不動産マスターファンド投資法人	2,541	376,322,100	
	C R E ロジスティクスファンド投資法人	2,776	422,784,800	
	日本都市ファンド投資法人	10,221	1,026,188,400	
	日本プライムリアルティ投資法人	1,094	388,370,000	
	インヴィンシブル投資法人	13,248	804,153,600	
	大和証券オフィス投資法人	2,101	645,007,000	
	大和証券リビング投資法人	5,363	540,590,400	
	ジャパンエクセレント投資法人	5,005	616,616,000	
		日本・円小計	51,631	6,647,639,200
投資証券合計			39,622,378,578 (32,974,739,378)	

合 計		39,622,378,578 (32,974,739,378)	
-----	--	------------------------------------	--

(注) 金額欄の()内は、外貨建有価証券にかかるものの内書きであり、また邦貨換算金額で表示しております。

通貨	銘柄数		組入 投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
	投資証券	銘柄数		
アメリカ・ドル	投資証券	21銘柄	44.0%	54.6%
カナダ・ドル	投資証券	3銘柄	3.9%	4.9%
オーストラリア・ドル	投資証券	6銘柄	8.5%	10.5%
香港・ドル	投資証券	1銘柄	3.3%	4.1%
シンガポール・ドル	投資証券	3銘柄	6.0%	7.4%
イギリス・ポンド	投資証券	6銘柄	8.7%	10.8%
ユーロ	投資証券	4銘柄	6.3%	7.8%

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

グローバル3資産ファンド

2024年10月31日現在

資産総額	19,540,846,380円
負債総額	31,218,251円
純資産総額（ - ）	19,509,628,129円
発行済口数	22,769,877,076口
1口当たり純資産額（ / ） （1万口当たり純資産額）	0.8568円 （8,568円）

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、ファンドの受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券は発行されません。

イ 名義書換

該当事項はありません。

ロ 受益者名簿

作成しません。

ハ 受益者に対する特典

ありません。

ニ 受益権の譲渡および譲渡制限等

(イ) 受益権の譲渡

- a. 受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。
- b. 上記aの申請のある場合には、上記aの振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記aの振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定に従い、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。
- c. 上記aの振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(ロ) 受益権の譲渡制限および譲渡の対抗要件

譲渡制限はありません。ただし、受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

ホ 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議の上、社振法に定めるところに従い、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

ヘ 償還金

償還金は、原則として、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者に支払います。

ト 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等に従って取り扱われます。

第二部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

イ 資本金の額および株式数

	2024年10月31日現在
資本金の額	20億円
会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式総数	33,870,060株

ロ 最近5年間における資本金の額の増減 該当ありません。

ハ 会社の機構

委託会社の取締役は8名以内とし、株主総会で選任されます。取締役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。

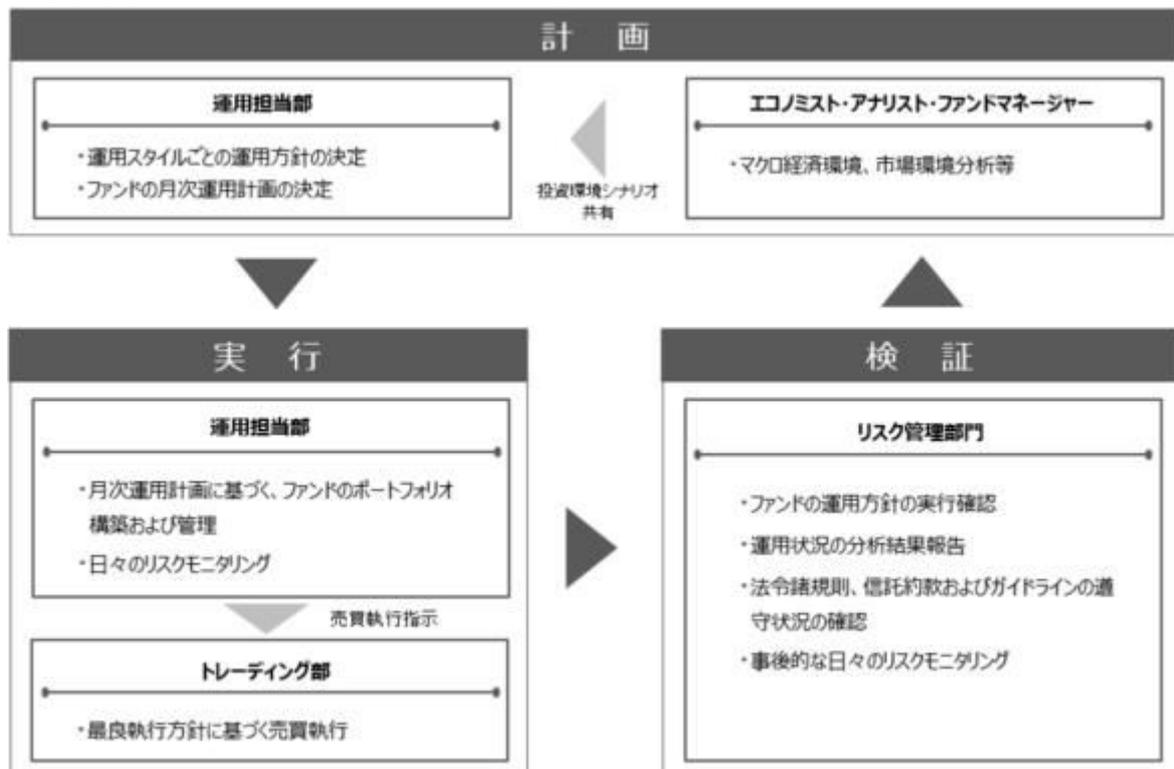
取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとし、補欠または増員によって選任された取締役の任期は、他の現任取締役の任期の満了する時までとします。

委託会社の業務上重要な事項は、取締役会の決議により決定します。

取締役会は、取締役会の決議によって、代表取締役若干名を選定します。

また、取締役会の決議によって、取締役社長を1名選定し、必要に応じて取締役会長1名を選定することができます。

ニ 投資信託の運用の流れ



2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託

の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として投資運用業および投資助言業務を行っています。また、「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業にかかる業務を行っています。

2024年10月31日現在、委託会社が運用を行っている投資信託（親投資信託は除きます）は、以下の通りです。

	本数(本)	純資産総額(百万円)
追加型株式投資信託	653	13,423,546
単位型株式投資信託	82	647,492
追加型公社債投資信託	1	22,797
単位型公社債投資信託	144	224,314
合計	880	14,318,151

3【委託会社等の経理状況】

- 1 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
- 2 当社は、当事業年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、有限責任 あずさ監査法人の監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

	(単位：千円)	
	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,742,400	66,540,261
金銭の信託	12,645,575	23,435,831
顧客分別金信託	300,046	300,051
前払費用	546,900	583,635
未収入金	437,880	193,837
未収委託者報酬	11,563,662	14,480,419
未収運用受託報酬	2,138,030	3,342,186
未収投資助言報酬	344,586	406,420
未収収益	35,477	84,166
その他の流動資産	8,423	43,391
流動資産合計	65,762,982	109,410,202
固定資産		
有形固定資産	1	
建物	1,361,305	1,265,924
器具備品	559,057	516,485
土地	710	710
リース資産	4,114	1,782
建設仮勘定	81,240	-

有形固定資産合計	2,006,427	1,784,901
無形固定資産		
ソフトウェア	2,414,295	2,606,617
ソフトウェア仮勘定のれん	508,956	101,101
顧客関連資産	3,045,409	2,740,868
電話加入権	11,445,340	9,332,065
商標権	12,706	12,706
	36	30
無形固定資産合計	17,426,744	14,793,389
投資その他の資産		
投資有価証券	9,222,276	9,976,957
関係会社株式	11,850,598	1,927,221
長期差入保証金	1,388,987	1,361,654
長期前払費用	80,207	44,009
会員権	90,479	90,479
繰延税金資産	-	716,093
貸倒引当金	20,750	20,750
投資その他の資産合計	22,611,799	14,095,666
固定資産合計	42,044,971	30,673,957
資産合計	107,807,953	140,084,160

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
リース債務	2,564	1,960
顧客からの預り金	11,094	21,728
その他の預り金	128,069	166,944
未払金		
未払収益分配金	2,013	1,927
未払償還金	1,312	1,253
未払手数料	5,194,011	6,580,971
その他未払金	259,542	642,514
未払費用		
未払消費税等	6,370,986	7,405,559
未払法人税等	406,770	937,155
賞与引当金	333,009	5,104,541
資産除去債務	1,801,492	2,854,060
その他の流動負債	13,940	-
	73,657	17,443
流動負債合計	14,598,465	23,736,060
固定負債		
リース債務	1,960	-
繰延税金負債	550,493	-
退職給付引当金	5,027,832	4,941,989
固定負債合計	5,580,287	4,941,989
負債合計	20,178,752	28,678,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金		
資本準備金	8,628,984	8,628,984
その他資本剰余金	73,466,962	73,466,962
資本剰余金合計	82,095,946	82,095,946

利益剰余金		
利益準備金	284,245	284,245
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,391,568	27,075,963
利益剰余金合計	3,675,814	27,360,208
株主資本計	87,771,760	111,456,155
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	142,558	50,045
評価・換算差額等合計	142,558	50,045
純資産合計	87,629,201	111,406,109
負債・純資産合計	107,807,953	140,084,160

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	前事業年度		当事業年度	
	(自	2022年4月1日	(自	2023年4月1日
	至	2023年3月31日)	至	2024年3月31日)
営業収益				
委託者報酬		61,471,271		69,953,226
運用受託報酬		8,978,419		11,147,187
投資助言報酬		1,273,386		1,302,916
その他営業収益				
サービス支 hands 手数料		208,222		319,553
その他		22,995		8,758
営業収益計		71,954,296		82,731,642
営業費用				
支払手数料		28,036,456		32,014,851
広告宣伝費		294,588		320,694
調査費				
調査費		3,749,357		4,637,211
委託調査費		11,455,987		12,412,033
営業雑経費				
通信費		61,068		56,291
印刷費		452,951		457,187
協会費		38,701		38,305
諸会費		33,447		30,484
情報機器関連費		5,067,617		5,268,275
販売促進費		29,621		31,339
その他		197,696		253,344
営業費用合計		49,417,495		55,520,019
一般管理費				
給料				
役員報酬		219,872		232,329
給料・手当		7,807,797		8,043,456
賞与		1,042,472		1,073,375
賞与引当金繰入額		1,798,492		2,854,060
交際費		27,713		57,134
寄付金		25,518		26,400
事務委託費		1,727,189		2,022,734
旅費交通費		99,733		166,596
租税公課		352,030		600,468
不動産賃借料		1,268,303		1,249,392
退職給付費用		624,551		712,228
固定資産減価償却費		3,247,869		3,281,572

のれん償却費	304,540	304,540
諸経費	200,758	215,455
一般管理費合計	18,746,845	20,839,745
営業利益	3,789,956	6,371,877

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	1,755	11,021,392
受取利息	1,373	2,840
金銭の信託運用益	-	199,056
時効成立分配金・償還金	521	461
原稿・講演料	2,281	2,143
投資有価証券償還益	119,033	5,384
投資有価証券売却益	25,848	12,261
為替差益	5,816	-
雑収入	91,814	129,137
営業外収益合計	248,443	11,372,678
営業外費用		
金銭の信託運用損	454,339	-
投資有価証券償還損	83,598	10,829
投資有価証券売却損	152,691	48,575
為替差損	-	4,701
営業外費用合計	690,629	64,106
経常利益	3,347,770	17,680,450
特別利益		
子会社株式売却益	1	-
特別利益合計	-	14,096,622
特別損失		
固定資産除却損	2	13,203
早期退職費用	3	126,832
支払補償費	4	30,075
特別損失合計	170,111	12,385
税引前当期純利益	3,177,659	31,764,687
法人税、住民税及び事業税	1,622,064	7,802,794
法人税等調整額	541,433	1,314,394
法人税等合計	1,080,631	6,488,400
当期純利益	2,097,028	25,276,287

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		利益剰余金
		その他資本	資本剰余金	その他利益剰余金

		資本準備金	剰余金	合計	利益準備金	繰越利益剰余金
当期首残高	2,000,000	8,628,984	73,466,962	82,095,946	284,245	3,834,794
当期変動額						
剰余金の配当						2,540,254
当期純利益						2,097,028
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）						
当期変動額合計	-	-	-	-	-	443,225
当期末残高	2,000,000	8,628,984	73,466,962	82,095,946	284,245	3,391,568

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
	利益剰余金 合計				
当期首残高	4,119,040	88,214,986	297,138	297,138	88,512,124
当期変動額					
剰余金の配当	2,540,254	2,540,254			2,540,254
当期純利益	2,097,028	2,097,028			2,097,028
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）			439,697	439,697	439,697
当期変動額合計	443,225	443,225	439,697	439,697	882,923
当期末残高	3,675,814	87,771,760	142,558	142,558	87,629,201

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金
当期首残高	2,000,000	8,628,984	73,466,962	82,095,946	284,245	3,391,568
当期変動額						
剰余金の配当						1,591,892
当期純利益						25,276,287
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）						
当期変動額合計	-	-	-	-	-	23,684,394
当期末残高	2,000,000	8,628,984	73,466,962	82,095,946	284,245	27,075,963

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
	利益剰余金 合計				
当期首残高	3,675,814	87,771,760	142,558	142,558	87,629,201
当期変動額					
剰余金の配当	1,591,892	1,591,892			1,591,892
当期純利益	25,276,287	25,276,287			25,276,287
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）			92,513	92,513	92,513

当期変動額合計	23,684,394	23,684,394	92,513	92,513	23,776,908
当期末残高	27,360,208	111,456,155	50,045	50,045	111,406,109

[注記事項]

(重要な会計方針)

1. 重要な資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

子会社株式
移動平均法による原価法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外

決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資(金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの)

組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

(2) 金銭の信託

運用目的の金銭の信託：時価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法によっております。但し、建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	8～30年
器具備品	4～15年

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっております。

なお、主な償却年数は次のとおりであります。

のれん	14年
顧客関連資産	6～19年
ソフトウェア(自社利用分)	5年

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、将来の支給見込額のうち、当事業年度の負担額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職金支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度において発生していると認められる額を計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用については、その発生時において一時に費用処理しております。

数理計算上の差異については、その発生時において一時に費用処理しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点は以下のとおりであります。

(1) 委託者報酬

委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を受け取ります。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

(2) 運用受託報酬

運用受託報酬は、対象顧客との投資一任契約に基づき、主に契約期間内の月末純資産平均価額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を受け取ります。当該報酬は対象口座の運用期間にわたり収益として認識しております。

(3) 投資助言報酬

投資助言報酬は、対象顧客との投資助言契約に基づき、主に契約期間内の月末純資産平均価額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を受け取ります。当該報酬は対象口座の助言期間にわたり収益として認識しております。

(貸借対照表関係)

1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
建物	301,463千円	397,568千円
器具備品	1,499,284千円	1,493,885千円
リース資産	7,493千円	9,824千円

2 当座借越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座借越契約を締結しております。当座借越契約に係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
当座借越極度額の総額	10,000,000千円	10,000,000千円
借入実行残高	- 千円	- 千円
差引額	10,000,000千円	10,000,000千円

3 保証債務

前事業年度は、当社は、子会社であるSumitomo Mitsui DS Asset Management(USA) Inc.における賃貸借契約に係る賃借料に対し、2023年6月までの賃借料総額の支払保証を行っております。

当事業年度は、該当事項はありません。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
Sumitomo Mitsui DS Asset Management (USA) Inc.	12,514千円	- 千円

(損益計算書関係)

1 子会社売却益

日興グローバルラップ株式会社の株式を譲渡したことによる売却益であります。

2 固定資産除却損

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
建物	2,482千円	9,039千円
器具備品	4,273千円	2,987千円
リース資産	532千円	- 千円
ソフトウェア	5,915千円	358千円

3 早期退職費用

早期希望退職の募集等の実施に関連して発生する費用であります。

4 支払補償費

受益者や販売会社に生じた損失の補償に伴い発生する費用であります。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 発行済株式数に関する事項

	当期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	33,870,060株	-	-	33,870,060株

2. 剰余金の配当に関する事項

配当金支払額等

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年6月28日 定時株主総会	普通株式	2,540,254	75.00	2022年 3月31日	2022年 6月29日

基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度になるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,591,892	47.00	2023年 3月31日	2023年 6月29日

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 発行済株式数に関する事項

	当期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	33,870,060株	-	-	33,870,060株

2. 剰余金の配当に関する事項

配当金支払額等

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,591,892	47.00	2023年 3月31日	2023年 6月29日

基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度になるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年6月26日 定時株主総会	普通株式	10,838,419	320.00	2024年 3月31日	2024年 6月27日

(リース取引関係)

オペレーティング・リース取引

(借主側)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
1年以内	1,161,545	1,161,545
1年超	1,161,545	-
合計	2,323,090	1,161,545

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言業などの金融サービス事業を行っており、当社が設定する投資信託の事業推進等を目的として、直接または特定金外信託を通じて当該投資信託を保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、資金運用については、短期的で安全性の高い金融資産に限定し、財務体質の健全性、安全性、流動性の確保

を第一とし、顧客利益に反しない運用を行っています。
また、資金調達は行っていません。

(2)金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である未収運用受託報酬及び未収投資助言報酬は、顧客の信用リスクに晒されています。未収委託者報酬は、信託財産中から支弁されるものであり、信託財産については受託者である信託銀行において分別管理されているため、リスクは僅少となっています。

金銭の信託及び投資有価証券については、主に事業推進目的のために保有する当社が設定する投資信託等であり、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されています。関係会社株式については、主に全額出資の子会社の株式であり、発行体の信用リスクに晒されています。

営業債務である未払手数料は、すべて1年以内の支払期日であります。

(3)金融商品に係るリスク管理体制

信用リスクの管理

当社は、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、営業債権について取引先毎の期日管理及び残高管理を行うとともに、その状況について取締役会に報告しています。

金銭の信託、投資有価証券及び子会社株式は発行体の信用リスクについて、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、定期的に管理を行い、その状況について取締役会に報告しています。

市場リスクの管理

金銭の信託及び投資有価証券については、自己勘定資産の運用・管理に関する規程に従い、各所管部においては所管する有価証券について管理を、経営企画部においては総合的なリスク管理を行い、定期的に時価を把握しています。また、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、その状況について取締役会に報告しています。

なお、事業推進目的のために保有する当社が設定する投資信託等については、純資産額に対する保有制限を設けており、また、自社設定投信等の取得・処分に関する規則に従い、定期的に取締役会において報告し、投資家の資金性格、金額、および投資家数等の状況から検討した結果、目的が達成されたと判断した場合には速やかに処分することとしています。

また、特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、市場価格の変動リスクについて為替予約、株価指数先物、債券先物、スワップ取引などのデリバティブ取引により一部リスクヘッジしております。

2.金融商品の時価等に関する事項

当事業年度における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のないものは、次表には含まれておりません（（注1）参照）。また、現金及び預金、顧客分別金信託、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収投資助言報酬、顧客からの預り金、未払金は、短期間で決済されるため時価が帳簿価格に近似することから、注記を省略しております。

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

区分	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)金銭の信託	12,645,575	12,645,575	-
(2)投資有価証券 その他有価証券	9,182,466	9,182,466	-
資産計	21,828,042	21,828,042	-

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

区分	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)金銭の信託	23,435,831	23,435,831	-
(2)投資有価証券 その他有価証券	9,292,678	9,292,678	-
資産計	32,728,510	32,728,510	-

（注1）市場価格のない金融商品の貸借対照表計上額

（単位：千円）

区分	前事業年度 （2023年3月31日）	当事業年度 （2024年3月31日）
その他有価証券		
(1)非上場株式	39,809	40,370
(2)組合出資金等	-	643,909
合計	39,809	684,279

子会社株式 非上場株式	11,850,598	1,927,221
合計	11,850,598	1,927,221

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。なお、時価算定会計基準適用指針27-3項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度に係る「金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項」については記載しておりません。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価で貸借対照表に計上している金融商品

前事業年度(2023年3月31日)

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
(1)金銭の信託	-	12,645,575	-	12,645,575
(2)投資有価証券 その他有価証券	-	9,182,466	-	9,182,466
資産計	-	21,828,042	-	21,828,042

当事業年度(2024年3月31日)

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
(1)金銭の信託	-	23,435,831	-	23,435,831
(2)投資有価証券 その他有価証券	-	9,292,678	-	9,292,678
資産計	-	32,728,510	-	32,728,510

時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

(1) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産(コールローン・委託証拠金等)で構成されております。信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引は、取引相手先金融機関より提示された価格によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 投資有価証券 その他有価証券

投資有価証券は、市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、公表されている基準価額又は取引金融機関から提示された価格により評価しております。

(有価証券関係)

1. 子会社株式

前事業年度(2023年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 関係会社株式11,850,598千円)は、市場価格がないことから、記載しておりません。

当事業年度(2024年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 関係会社株式1,927,221千円)は、市場価格がないことから、記載しておりません。

2. その他有価証券

前事業年度(2023年3月31日)

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額
(1)貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 投資信託等	3,144,004	3,054,367	89,637
小計	3,144,004	3,054,367	89,637
(2)貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 投資信託等	6,038,462	6,295,278	256,815

小計	6,038,462	6,295,278	256,815
合計	9,182,466	9,349,645	167,178

(注) 非上場株式等(貸借対照表計上額 39,809千円)については、市場価格がないことから、記載しておりません。

当事業年度(2024年3月31日)

(単位:千円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額
(1)貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 投資信託等	3,489,939	3,297,367	192,572
小計	3,489,939	3,297,367	192,572
(2)貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 投資信託等	5,802,739	6,025,562	222,822
小計	5,802,739	6,025,562	222,822
合計	9,292,678	9,322,929	30,250

(注) 非上場株式等(貸借対照表計上額 684,279千円)については、市場価格がないことから、記載しておりません。

3. 事業年度中に売却したその他有価証券

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
1,675,637	25,848	152,691

(単位:千円)

償還額	償還益の合計額	償還損の合計額
6,449,143	119,033	83,598

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
801,686	12,261	48,575

(単位:千円)

償還額	償還益の合計額	償還損の合計額
217,908	5,384	10,829

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けております。また、確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
退職給付債務の期首残高	5,084,506	5,027,832
勤務費用	429,188	423,516
利息費用	6,502	11,432
数理計算上の差異の発生額	12,781	34,405
退職給付の支払額	479,583	466,321
過去勤務費用の発生額	-	20,064
退職給付債務の期末残高	5,027,832	4,941,989

(2)退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	5,027,832	4,941,989
未認識数理計算上の差異	-	-
未認識過去勤務費用	-	-
退職給付引当金	5,027,832	4,941,989

(3)退職給付費用及びその内訳項目の金額

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
勤務費用	429,188	423,516
利息費用	6,502	11,432
数理計算上の差異の費用処理額	12,781	34,405
過去勤務費用の費用処理額	-	20,064
その他	39,914	67,197
確定給付制度に係る退職給付費用	382,994	447,675

(注) その他は、その他の関係会社等からの出向者の年金掛金負担分及び退職給付引当額相当額負担分、退職定年制度適用による割増退職金であります。

(4)数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表わしております。）

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
割引率	0.230%	0.440%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度241,556千円、当事業年度264,552千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
繰延税金資産		
退職給付引当金	1,539,522	1,513,237
賞与引当金	551,617	873,913
調査費	473,972	558,908
未払金	211,439	176,993
未払事業税	39,995	365,090
ソフトウェア償却	105,506	101,113
子会社株式評価損	114,876	114,876
その他有価証券評価差額金	120,350	109,942
その他	21,158	18,064
繰延税金資産小計	3,178,439	3,832,139
評価性引当額	193,662	198,503
繰延税金資産合計	2,984,776	3,633,635
繰延税金負債		
無形固定資産	3,504,563	2,857,478
資産除去債務	3,201	-
その他有価証券評価差額金	27,506	60,063
繰延税金負債合計	3,535,270	2,917,542
繰延税金資産（負債）の純額	550,493	716,093

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
法定実効税率	30.6%	30.6%

（調整）

受取配当等永久に益金に算入されない項目	0.0	10.6
のれん償却費	2.9	0.2
交際費等永久に損金に算入されない項目	3.0	0.1
所得税額控除による税額控除	1.3	-
その他	1.2	0.0
税効果会計適用後の法人税等の負担率	34.0	20.4

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「セグメント情報等」注記に記載のとおりであります。

（セグメント情報等）

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1.セグメント情報

当社は、投資運用業及び投資助言葉などの金融商品取引業を中心とする営業活動を展開しております。これらの営業活動は、金融その他の役務提供を伴っており、この役務提供と一体となった営業活動を基に収益を得ております。

従って、当社の事業区分は、「投資・金融サービス業」という単一の事業セグメントに属しており、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2.関連情報

(1)製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	投資助言報酬	その他	合計
外部顧客への営業収益	61,471,271	8,978,419	1,273,386	231,218	71,954,296

(2)地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3)主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

3.報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当社は、投資・金融サービス業の単一セグメントであり、記載を省略しております。

4.報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当社は、投資・金融サービス業の単一セグメントであり、記載を省略しております。

5.報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至2024年3月31日）

1.セグメント情報

当社は、投資運用業及び投資助言葉などの金融商品取引業を中心とする営業活動を展開しております。これらの営業活動は、金融その他の役務提供を伴っており、この役務提供と一体となった営業活動を基に収益を得ております。

従って、当社の事業区分は、「投資・金融サービス業」という単一の事業セグメントに属しており、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2.関連情報

(1)製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	投資助言報酬	その他	合計
--	-------	--------	--------	-----	----

外部顧客への 営業収益	69,953,226	11,147,187	1,302,916	328,311	82,731,642
----------------	------------	------------	-----------	---------	------------

(2)地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3)主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

3.報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当社は、投資・金融サービス業の単一セグメントであり、記載を省略しております。

4.報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当社は、投資・金融サービス業の単一セグメントであり、記載を省略しております。

5.報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1.関連当事者との取引

(1)兄弟会社等

(単位：千円)

種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金、出資金 又は基金	事業の 内容又は 職業	議決権等の 所有(被所 有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社 の子会社	㈱三井住友 銀行	東京都 千代田区	1,770,996,505	銀行業	-	% 投信の販売委託 役員の兼任	委託販売 手数料	5,279,199	未払 手数料	1,265,651
親会社 の子会社	SMBC日興 証券㈱	東京都 千代田区	10,000,000	証券業	-	% 投信の販売委託 役員の兼任	委託販売 手数料	7,030,381	未払 手数料	1,288,749

(注)取引条件及び取引条件の決定方針等

投信の販売委託については、一般取引条件を基に、協議の上決定しております。

2.親会社に関する注記

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場）

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1.関連当事者との取引

(1)兄弟会社等

(単位：千円)

種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金、出資金 又は基金	事業の 内容又は 職業	議決権等の 所有(被所 有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社 の子会社	㈱三井住友 銀行	東京都 千代田区	1,770,996,505	銀行業	-	% 投信の販売委託 役員の兼任	委託販売 手数料	6,642,605	未払 手数料	1,630,250
親会社 の子会社	SMBC日興 証券㈱	東京都 千代田区	135,000,000	証券業	-	% 投信の販売委託 役員の兼任	委託販売 手数料	6,960,278	未払 手数料	1,200,878

(注)取引条件及び取引条件の決定方針等

投信の販売委託については、一般取引条件を基に、協議の上決定しております。

2.親会社に関する注記

(単位：千円)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金、出資金又は基金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	㈱三井住友フィナンシャルグループ	東京都千代田区	2,344,038,000	銀行業	50.1%	持株会社	子会社株式の売却(売却価格)	24,000,000	-	-
							子会社株式売却益	14,096,622		

(注) 子会社株式の売却及び子会社株式売却益

取引価額については、企業価値を勘案し、両社協議のうえ合理的に決定しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,587.21円	3,289.22円
1株当たり当期純利益	61.91円	746.27円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	2,097,028	25,276,287
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	2,097,028	25,276,287
期中平均株式数(株)	33,870,060	33,870,060

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- イ 自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
- ロ 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
- ハ 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)または子法人等(委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。
- ニ 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- ホ 上記ハ、ニに掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

イ 定款の変更、その他の重要事項

(イ) 定款の変更

該当ありません。

(ロ) その他の重要事項

該当ありません。

ロ 訴訟事件その他会社に重要な影響を与えることが予想される事実

該当ありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

イ 受託会社

(イ) 名称 三井住友信託銀行株式会社

(ロ) 資本金の額 342,037百万円（2024年3月末現在）

(ハ) 事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

〔参考情報：再信託受託会社の概要〕

- ・ 名称 株式会社日本カストディ銀行
- ・ 資本金の額 51,000百万円（2024年3月末現在）
- ・ 事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

ロ 販売会社

名称	資本金の額（百万円） 2024年3月末現在	事業の内容
PayPay銀行株式会社	72,216	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社北都銀行	12,500	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社群馬銀行	48,652	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社足利銀行	135,000	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社武蔵野銀行	45,743	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社きらぼし銀行	43,734	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社第四北越銀行	32,776	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社山梨中央銀行	15,400	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社八十二銀行	52,243	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社大垣共立銀行	46,773	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社関西みらい銀行	38,971	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社南都銀行	37,924	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社紀陽銀行	80,096	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社あおぞら銀行	100,000	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社北洋銀行	121,101	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社きらやか銀行	34,183	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社北日本銀行	7,761	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社大光銀行	10,000	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社長野銀行	13,017	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社みなと銀行	39,984	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社愛媛銀行	21,367	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社熊本銀行	10,000	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
京都信用金庫	11,580	信用金庫法に基づき、金融業を営んでいます。
アイザワ証券株式会社	3,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

a uカブコム証券株式会社	7,196	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
池田泉州T T証券株式会社	1,250	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社S B I証券	54,323	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
OK B証券株式会社	1,500	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
きらぼしライフデザイン証券株式会社	3,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
ぐんぎん証券株式会社	3,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
北洋証券株式会社	3,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
十六T T証券株式会社	3,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
大和証券株式会社	100,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	19,495	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
東海東京証券株式会社	6,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
西日本シティT T証券株式会社	3,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
S M B C日興証券株式会社	135,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
野村証券株式会社	10,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
浜銀T T証券株式会社	3,307	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
ひろぎん証券株式会社	5,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
ほくほくT T証券株式会社	1,250	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
F F G証券株式会社	3,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
松井証券株式会社	11,945	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
三木証券株式会社	500	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
ワイエム証券株式会社	1,270	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

京都信用金庫の資本金の額の箇所には、出資の総額を記載しております。
 楽天証券株式会社の資本金の額は、2023年12月末現在です。

八 投資顧問会社(運用の委託先)

- (イ) 名称 BNPパリバ・アセットマネジメント・ヨーロッパ
 (ロ) 資本金の額 170,573,424ユーロ(2024年6月末日現在)
 (ハ) 事業の内容 フランスの金融市場庁の監督下で、投資顧問業を営んでおります。

2【関係業務の概要】

イ 受託会社

信託契約の受託会社であり、信託財産の保管・管理・計算等を行います。

ロ 販売会社

委託会社との間で締結された販売契約に基づき、日本における当ファンドの募集・販売の取扱い、投資信託説明書(目論見書)の提供、一部解約の実行の請求の受付け、収益分配金、償還金の支払事務等を行います。

ハ 投資顧問会社(運用の委託先)

委託会社との間で締結される投資一任契約(運用委託契約)に基づき、当ファンドの主要投資対象の一つであるグローバル・リート・マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、信託財産の運用を行います。

3【資本関係】

(持株比率5%以上を記載しています。)

該当ありません。

第3【参考情報】

ファンドについては、当計算期間において以下の書類が提出されております。

提出年月日	提出書類
2024年 4月 3日	臨時報告書
2024年 6月18日	有価証券届出書
2024年 6月18日	有価証券報告書
2024年 7月 3日	臨時報告書

独立監査人の監査報告書

2024年6月14日

三井住友DSアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 栄裕指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 深井 康治**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三井住友DSアセットマネジメント株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの第39期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井住友DSアセットマネジメント株式会社の2024年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2024年12月4日

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 和田 渉

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 榊原 康太

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているグローバル3資産ファンドの2024年3月22日から2024年9月20日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、グローバル3資産ファンドの2024年9月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三井住友DSアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立

案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三井住友DSアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。